

和田英之氏

株式会社コレクターズジャパン（2000年6月20日設立）

株式会社ロイヤルアートジャパン（2005年3月30日設立）

株式会社ギャラリープレシヤス（2012年12月17日設立）

以下「和田氏」或いは「当該事業者」と総称する。

「当該事業者による米国コイン販売における問題点」

－消費者の自己責任レベルではない－

2014年6月18日

金城昭一

Shoichi Kaneshiro

Kaneshiro Lawyers Australia

目次

1. 本レポート開示に至るまでの経緯.....	5
2. 和田英之氏について.....	8
3. 和田氏のコインビジネス概要 - ビジネスモデル.....	10
和田氏独自の AAA 級鑑定システムを発案.....	10
年商は 30 億円.....	10
領収書なしのビジネス.....	11
投資リターンについての不当表示.....	11
買取保証についての不当表示.....	12
買取実績.....	13
代理人から内容証明通知.....	13
ビジネスモデル.....	14
個人顧客が中心.....	15
根拠資料の開示を求める.....	15
4. 米国コイン専門家の意見書.....	16
ヘリテージ・オークション社の意見書.....	16
国際プロフェッショナルコイン協会代表の意見書.....	17
スタックス・パワーズ社の意見書.....	18
NGC 社の意見書.....	19
CAC 社の第三者意見.....	19
コインディーラーズニュース誌の一面記事.....	20

5. ディーラー登録について	23
ANA	23
PNG	23
日本貨幣商協同組合	24
PCGS 社	24
NGC 社	24
NCIC	24
6. 当該事業者の粗利益	26
日本での販売価格は米国市場価格の 5 倍以上	26
米国ディーラーの利益マージン	26
7. 実証	27
8. 米国落札額と日本販売価格の格差（鑑定番号一致コイン）	28
9. 2012 年 8 月以降に販売されたコイン分析	30
開示すべき情報	30
売却済 100 万円超 コインリストのまとめ	30
AAA 定義 と実際の食い違い	31
100 万円超 コインの和田価格は市場実勢価格の 5 倍以上	32
和田氏の不当表示を解く	33
10. 主要コインの価格推移	37
オークション実勢価格	37
販売数の多いコインの価格推移	37

11. 問題の争点.....	43
和田氏独自の発案による AAA 級鑑定システム.....	43
米国コイン業界やコイン投資自体に問題はない.....	44
12. コイン鑑定について	45
米国鑑定会社のグレーディング	45
鑑定用語の基本.....	45
コイン鑑定の基礎.....	47
米国鑑定会社のコイングレードの定義.....	49
13. 和田氏・当該事業者が定める AAA 級品定義とは.....	52
ホームページでの AAA 級品定義.....	52
ネバダブログでの AAA 級品定義.....	54
コイン解説での AAA 級品定義.....	55
PCGS 価格とは	56
14. ダイヤモンド.....	57

資料 1 : 外交官財テク事件 国会委員会記録

資料 2 : 和田氏関連 報道記事

資料 3 : 和田氏関連 米国法人リスト

資料 4 : ネバダブログ コイン・ダイヤモンド販促記事

資料 5 : 2014 年 3 月ボルチモア オークション レポート

資料 6 : 2012 年 8 月以降販売済の 100 万円超コイン リスト

資料 7 : 2012 年 8 月以降販売済の 500 万円超コイン リスト

資料 8 : ラパポート社ダイヤモンド価格リスト

1. 本レポート開示に至るまでの経緯

筆者はオーストラリアにて法律事務所、UAE ドバイにてマネジメントコンサルティング事務所を経営している。

2012年末に和田氏から「ロイヤルアート株式会社」¹ が株主となるドバイ事務所を設立したいとの依頼を受けた。設立後現地法人の銀行口座を開設するためにUAEの銀行へ提出する和田氏本人（和田氏はロイヤルアート本社の個人株主）のパスポートコピーとロイヤルアート株式会社のバランスシート・損益計算書等を求めたところ、突如音信不通となった。

その後再三の督促にも関わらずまったく音信が途絶え、和田氏及び当該事業者はドバイ現地の事務所賃貸契約及び内装契約履行を放棄。数々の請求書は未払いのまま今日に至っている。

また、（株）ロイヤルアートの本社保養施設として、役員の個人名義で購入登記したドバイにある3つのマンションの購入資金元はロイヤルアート本社からの送金であるため、その役員と（株）ロイヤルアート間の金銭消費貸借契約書を開示するか、当該3つのマンションを法人名義に変更するよう再三要請したがそれへの回答もない。

和田氏と当該事業者がパスポートコピー・株主詳細・保有株数・バランスシート等をドバイの金融機関へ開示拒否した理由、ドバイ不動産名義を法人名義にしない理由、そしてそれらの要請直後から突然音信が途絶えドバイの活動を放棄した理由について文書回答を求めているが、いまだに回答はない。

¹ 個人大株主は和田英之氏。法人大株主は(株)コレクターズジャパン。和田氏は(株)コレクターズジャパンの代表取締役会長。

上であげた以外の債務不履行を含め数々の問題を残して当該事業者はドバイビジネスを放棄している状態であり、これらは関連省庁と連携の上、淡々と当該事業者への別途訴追・訴訟準備を進めている。

この異常な状況を受け、和田氏関連企業を調査していたところ、和田氏の顧客数名から相談があり、和田氏が米国コインとダイヤモンドを優良誤認表示のもと米国市場価格の5倍以上時には20倍以上かい離する価格で販売している事実²、そしてそれらコイン・ダイヤモンドの買取要請に対し和田氏・関連企業が（ブログ表示と異なり）買取拒否をしている事実を知る。それら投資家達の投資評価損は数億を超える莫大な金額であった³。その後、それらは氷山の一角に過ぎないことを認識するに至る。

筆者は米国コインビジネスの研究を重ね、数回米国に渡り、コインとダイヤモンド専門家にヒアリングを実施し、米国コイン業界の主要専門家と会い、詳細に渡り調査分析、根拠の特定を行うに至った。

以下はその調査分析結果の一つ、コイン専門家達の見解である。

国際プロフェッショナルコイン協会代表者の意見は「AAA級のような評価方法は過去に一度も聞いたことがなく、国際的に認知されていません。・・・この評価方法はコインの売値を釣り上げるために編み出されたものであり、その販売業者の取り扱いコインにのみ用いられているのではないか、というのが私の印象です」。⁴

コインにおける最大のオークション会社ヘリテージ社の意見は「・・・和田氏の言われるような等級付け方法や鑑定が反映されたという例は過去に一度もありません。仮にそうしたことがあれば、コインの市場価格は現在よりはるかに上昇しているはずですが。・・・和田氏が鑑定されたPR65ウルトラカメオの価値はグレード

² 本レポート 30 頁以降及び資料 6 の「販売価格/PCGS 価格の倍率」欄を参照。

³ 本レポート 27 頁及び資料 5 を参照。

⁴ 本レポート 17 頁参照。

が3ランク上のPR68 ウルトラカメオより2倍以上高いということになります。これほどの差が出るというのは単に現実味に欠けていると言えるでしょう」。⁵

コイン鑑定会社最大手であるNGC社のアドバイスは「AAA級なるステッカーも等級も認識しておりません。またそれらはNGCガイド価格に影響を与えるものでもありません。AAAなる鑑定をする会社に鑑定保証書を発行するかどうか問い合わせてみてはいかがでしょうか」。⁶

和田氏の販売歴・コイン解説を見た米国コイン・ディーラーズ・ニュース (CDN)社は2014年5月、以下の記事を一面掲載した。「・・・東京のある業者に騙されて高額な米国コインを相場の4倍か5倍、果ては10倍もの価格で購入してしまう例がアジアで頻発している。その業者は独自の格付け基準を用いているようだが、米国市場はその基準を認知していない。その業者の方法とは、従来の数字による格付け評価を独自の基準で「B」「A」「AA」「AAA」と細かく格付けし、それをCAC社の鑑定シールと類似したシールに表示してPCGS社やNGC社の鑑定コインに貼付するというものだ。こうしてAAA級と格付けされたコインには米国コイン市場における現在の市場価格の数倍の販売価格が付けられている」。⁷

2014年6月上旬、和田氏へ投資家達を代理して再度買取要請を行うも回答なし。

調査分析と和田氏がブログで申告する年商30億円をベースにすると、過去14年間の潜在的被害額は数100億円に及ぶ可能性もある。

和田氏及び当該事業者の法的社会的責任を問い、今後の投資家へ警鐘を鳴らし、同時に過去の（そして潜在する）被害者救済の第一歩として今回のレポートを開示する判断に至った。同時にこのレポートが関連省庁による真相解明スタートの一助となれば幸いである。

⁵ 本レポート 16 頁参照。

⁶ 本レポート 19 頁参照。

⁷ 本レポート 20 頁参照。

2. 和田英之氏について

当該事業者の実質的経営者である和田英之氏⁸は元外交官。

1985年から1987年にかけて（当時和田氏は27歳から29歳）ジュネーブ代表部理事官就任中に、スイスの個人銀行に口座を作り自ら設立した私設ファンド「ファンドHW」を使い現職の大使数名を含む5か国の外務省職員13名を巻き込み、外交特権を利用した「外交官財テク事件」を引き起こす。和田氏は外務省退職後の1987年9月、突然、一方的にファンド解約を通知。さらに「10月のブラックマンデーの暴落の影響を受けたので、清算を延期したい」と言ったまま連絡が取れなくなったとしている。元大使ら外務省関係者5人は和田氏に対し預託金返還訴訟の申し立てを行うに至り、外務省は和田元理事官の私的ファンドに投資した現職大使三人も処分。⁹

報道によると和田氏は外務省を退職したのちも、コインやディズニーのセル画を財テク商品として売り出す商売を立案し、外務省当時の人脈などを駆使し日本で投資会社数社を設立。一般投資家に「一年後に2倍の価格で買い戻す」と投資を持ちかけ結局履行できず、放漫経営で破たん、という事件¹⁰等も複数引き起こしている。和田氏に関する「外交官財テク事件」の国会委員会記録は「資料1」を参照。当時の和田氏関連報道記事は、「資料2」を参照。

その後和田氏は米国において無数の法人を設立。日本におけるコイン・ダイヤモンドの購入者は和田氏関連米国法人名義のハワイ銀行口座へ直接振込を行う指示も当該事業者から受けている。和田氏関連の米国法人リストは「資料3」を参照。

その後2000年6月にコレクターズジャパン株式会社を設立、日本において米国コイン・ダイヤモンド・美術品輸入ビジネスを本格化。続いて、2005年3月にロ

⁸ 本人が使う名刺やメール文書では本名の「英之」ではなく「秀之」の当て字を使っているケースが見受けられる。

⁹ 1988年10月11日付、18日付、19日付、27日付、11月8日付朝日新聞、毎日新聞。詳しくは資料2を参照。

¹⁰ 1988年10月19日毎日新聞。

イヤルアート株式会社、2012年12月にギャラリープレシヤス株式会社を設立し同ビジネスを引き継がせている。なお、東京都中央区銀座の法人所在地住所には上記3社を含み少なくとも和田氏関連企業合計6社が商業登記されている。

和田英之氏は、過去14年間に及ぶ彼のコインビジネスが終焉に近づいていることを恐らく察している。ソフトランディングを図る和田氏自身の出口戦略はこれから続出するであろう買い取り要請に対して次のような対応を取ることも予想される。

「現物資産は40年、50年、100年と保有し続けるものです」「そもそも販売時に買い取り保証はしていません」「それでも買い取りを要請されるのであれば、時価で買い取りをすることになります」。

その買い取り「時価」が標準価格（PCGS 価格）の3倍以上でなければ、和田氏が立案したAAA級品の定義を自ら否定したことになる。

以下は2011年9月11日の和田氏の言葉である。「AAA級品はもはやアメリカ市場には存在していないかも知れません。標準品価格（B級品）の3倍を出しましても買えないAAA級品ですが、稀少性からしますと標準品価格の10倍しましても何ら不思議ではなく、この10倍を目指して価格上昇を続けるのだと言えます」。¹¹

和田氏は一体PCGS 価格の何倍で買い取りをするのであろうか。

¹¹資料4の133頁参照。本レポート52頁で参照する和田氏のAAA級品定義では稀少性は20倍以上となっている。なお、これ以外にもAAA級品は枯渇していて価格はPCGS 価格の数倍以上である等という和田氏のブログ解説は数えきれない。資料4のブログ記事索引2頁を参照。

3. 和田氏のコインビジネス概要 - ビジネスモデル

和田氏独自の AAA 級鑑定システムを発案

和田氏・当該事業者は 2000 年前後から米国のコインディーラーやコインオークションを通して米国コインを購入。それを日本に輸入して「AAA 級品」と独自のグレードをつけ、「AAA 級品は稀少価値は 20 倍以上にも関わらず価格は標準品の 2 倍から 3 倍」等の不当表示のもと数ランク上のグレードのコイン価格の数倍以上で販売。特に 100 万円を超えるコインにおいては概ね米国市場相場の 5 倍、時には 10 倍前後、筆者が認識する限りここ数年では市場価格の最高約 21 倍で日本の顧客に売却している¹²。米国コインディーラーの平均利益マージンは 10%。¹³

世界中で、日本でのみ通用したビジネスモデルである。和田氏が編み出した AAA 級品の定義と AAA 級品の価格解説については本レポートの 52 頁を参照。ただし、それら和田氏の AAA 級定義と妥当価格等は場当たりの的に変化しており、その定義自体も曖昧である。

年商は 30 億円

和田氏本人執筆のネバダブログによると、「(2013 年時点) 過去 13 年間で総額で 150 億円以上の【超稀少金貨】を市場から吸い上げてきました」¹⁴とあり、更には「年商は 30 億円」¹⁵とある。結果、ブログ内容をもとにすると、過去 14 年間の売上総額は 300 億円～400 億円と推測する。ネバダブログのアドレスは http://blog.livedoor.jp/nevada_report-investment/archives/2011-01-02.html。

顧客を結ぶ販売の媒介はこのネバダブログと当該事業者が運営するネットショップ「レアコインギャラリー」¹⁶ が中心。コインとダイヤモンド販促に関連するネバダブログ記事の索引と記事抜粋記録は「資料 4」を参照。

¹² 本レポートの 30 頁以降及び資料 6 を参照。

¹³ 本レポート 26 頁参照。

¹⁴ 資料 4 の 276 頁参照。

¹⁵ 資料 4 の 24 頁、54 頁及び 208 頁参照。

¹⁶ <http://www.rarecoin-gallery.jp/>

和田氏のネバダブログには長年に渡り政治経済社会コメント記事に混ざりコインやダイヤモンドの販促記事が掲載されており、毎日 1 万人以上の読者が存在する。当該事業者の顧客は殆どがこのネバダブログの読者である。

契約書・領収書なしのビジネス

筆者が認識する限り、コイン・ダイヤモンドの販売時に正式な契約書の発行、収入印紙付の領収書が発行された形跡はない。その代わりに「計算書」なるものが当該事業者から購入者へ発行される。その計算書には振込先として日本の法人口座だけではなく当該事業者とは別法人である米国法人（和田氏が役員）名義のハワイ銀行口座も振込み先として指定されている。¹⁷ 実際、コイン・ダイヤモンドの購入代金を直接このハワイ口座に振り込むよう指示を受けた依頼人も存在する。和田氏のビジネスは仕入先が海外であり仕入コストは日本での販売価格と比べ桁違いに低いため、（中継関連会社からの）仕入額については「独立企業間価格」で課税する移転価格税制対応が望まれる。¹⁸

投資リターンについての不当表示

米国コインの価格上昇について和田氏は、「稀少金貨はリスクがなく、年率平均 10%から 15%の価格上昇が見込める」等という販促解説がネバダブログにて継続的に行われている。¹⁹ 元本割れリスクのアドバイスはない。

しかしながら、PCGS 社が公表するプルーフコインの価格指数は、2 大鑑定会社が設立され、米国コインがコレクターの趣味から投資対象となり始めた 1980 年代後半をピークにして現在でもそのピーク時マイナス 37%であることを示している。²⁰ 本レポート 37 頁以降にも当該事業者が売却した主要コイン相場が右肩上がりではないことを相場推移グラフと共に示した。市場規模が薄く、米国経済と収集家の嗜好に左右される米国コインの価格変動は激しい。

¹⁷ Bank of Hawaii, Waikiki Branch, A/C 6801-369490 口座名義 Royal Art Japan USA Inc

¹⁸ 租税特別措置法第 66 条の 4。

¹⁹ このような不当表示は過去 6 年間に最低 15 回。資料 4 の 1 頁「ブログ主要トピックス牽引」を参照。

²⁰ <http://www.pcgs.com/prices/Frame.aspx?type=coinindex&filename=prgold>

問題の核心

しかし問題の核心はそれ（投資リターンの不当表示）ではない。不当表示のもと、当該事業者が販売する高額コインは既に市場価格の500%以上、時には1000%、2000%を超える「和田価格」で売却されているため、米国で多少の価格上昇があったとしてもキャピタルゲインには遠く及ばない。これが今回の問題の核心である。突出した問題は特に販売価格が100万円を超えるコイン、つまり当該事業者の販売の約7割を占めるであろう高額コインに集中している。

買取保証についての不当表示

和田氏及び当該事業者による買取保証については、販売時に「買い取りにはいつでも応じる」と口頭説明。ブログでも買取保証を再三に渡り強調。²¹ その後購入者（特に販売価格100万円以上のコイン購入者）の買い取り要請に対しては（当該顧客に買い替えや追加購入がないと当該事業者が判断した場合）元本を割れる買取提示もしくは買取拒否、或いは買取拒否をした上で米国オークション会社の斡旋勧誘をしている事実が存在する。当該事業者の代理人（東京の大手法律事務所）から「買取保証は契約条件ではないので買取をする義務はない」とする通知を内容証明で受け取った投資家も存在する。

ただし、利益を出して当該事業者から買取をしてもらった顧客も存在する。特に100万円以下のコイン買取、コイン買い替え、将来のコイン購入がありそうな顧客に対してはある程度の利益を与えながら買い取りを行っている事実がある。将来の購入可能性はない顧客であると判断した場合、特に高額コインの買取に際しては上記のようなネガティブな対応が顕著となる。

筆者が特に懸念をするのは、当該事業者の売上の約7割を占めるであろう100万円以上のコインの買取状況である。

²¹ 添付資料4の24頁、239頁、308頁、310頁を参照。

- 2012年8月～2014年3月までの販売総額：約9億3千万円。
- そのうち100万円超のコイン売上総額：約6億3千万円（売上の約70%）。

買取実績

当該事業者のギャラリープレシヤス社ホームページには2009年以降の買取実績の数字が並ぶ。しかし、ギャラリープレシヤス社の設立は2012年12月17日であるから、設立以前の2009年から2012年にかけてギャラリープレシヤス社が買い取りをしていたという表示は不当である。

更に、2012年11月20日付ネバダブログには「当社にてお買い上げ頂きました【稀少金貨・ダイヤモンド】はすべて時価にて買取を行っており、本年（2012年）は2億円程の買取となっており、昨年（2011年）の5億円より少なくなっており」とある。ところが、現在ギャラリープレシヤス社のホームページで開示されている買取実績を見ると、2011年と2012年の数字はそれぞれ約3億2500万円である。²² 買取実績の数字根拠が定かでない。

代理人から内容証明通知

和田氏或いは当該事業者へクレームを出すと大手法律事務所を通じて「買取保証はしていない」等と内容証明で通知してくるケース、もしくは元本を大きく割れる買取価格を提示送達、というパターンも散見している。更には、買取額を提示せずに、購入したコイン・ダイヤモンドを当該事業者の事務所に送ったら買取額を提示する、という通知をもらった購入者、当該事業者自身が販売金額を大きく間違えて記録していたケースも散見する。買取要請をした投資家の中には「事業に失敗された方から買取要請があり」等と買取要請を非難するようにブログに書かれた方もおられる。

²² http://gallery-precious.jp/purchase_results.html

ビジネスモデル

上で述べたように、日米の関連企業を使いコインを米国市場価格で仕入れ、優良誤認表示（和田グレード価格）のもと販売、比較的low価格帯のコインや買換えコインは時には利益を提供、高額コイン取引で巨大な利益を上げ、30年から50年という長期保有を勧めて高額買取は遅らせる、もしくは米国でのオークション売却を勧誘、莫大な利益分で有名絵画やダイヤモンド等現物資産を購入して資産構築、というビジネスモデルである。ヘリテージ・オークション社やPCGS社サイトを読むことができる英語圏の国では成立しえないビジネスモデルである。なお、コインやダイヤモンドを売却する和田氏関連の日本法人は、2000年以降少なくとも3社が変遷存在する。

税法に関する争点

上で参照したように和田氏のブログによると、「(2013年2月時点)過去13年間で総額で150億円以上の【超稀少金貨】を市場から吸い上げてきましたので」、「年商30億円」とあり、ブログ内容が真実であればこれまでの日本での販売総額は仕入れ価格の約3倍としても400億円前後になる可能性がある。

和田氏関連企業は少なくとも米国と日本の二国に多数存在する。コイン・ダイヤモンド宝石類・絵画、セル画等の仕入れが（資本や人的に支配関係にある）和田氏の米国法人を通してなされていた場合、移転価格税制の争点は避けられない。莫大な利益の向かい先の特定も必要だが、それら莫大な利益は（現金預金を除くと）、以下を含む現物資産・不動産の購入資金になっている可能性がある。

絵画ルノアール6点、ミレー1点、レピーヌ2点、レールミット1点、コロロ12点、ルソー1点、ドービニー2点、ディアズ3点、リシエ3点、レンブラント1点、ドガ（彫像）1点、（宝石）ティアラ7点、アンティーク宝石9点、4.38カラット・3.51カラットダイヤモンド、プライベートルマリン12カラット、稀少コイン無数、ディズニーのセル画無数、化石（アンモライト・恐竜の卵等）、

ガラス工芸品、エミール・ガレの作品を中心としたガラス工芸品約 500 点、白浜土地建物不動産、等。²³

個人顧客が中心

和田氏が現在使っているコイン・ダイヤモンド販売法人は(株)ギャラリープレシヤス（2012年12月設立）だが、そこへの信用調査を依頼したところ「弊社は海外から買い付けて日本国内では個人を対象に販売しています。従って国内で法人との取引は一切なく、信用調査を受ける理由がありませんので調査はお断りします」等と窓口の段階でかなりマニュアル化された回答で拒否された。

購入した瞬間に膨大な評価損を被った投資家個人は和田氏や当該事業者にクレームを出すも個人の力ではどうにもならない。財力ある当該事業者の代理人である東京の大手法律事務所から内容証明で通知を受け、個人では戦えず、ご高齢の方々も数多く、泣き寝入りを余儀なくされるケースが発生している。和田氏を信頼して被害を被った投資家達の欠損額は尋常ではない。

根拠資料の開示を求める

米国コインに関する情報が少なく、あっても英語による情報であり、更にはコイン売却市場が米国に限られている現状では、投資家達も和田氏から買取拒否を受けたらどうしていいのかわからない。同じような投資家、苦悩が日本中に潜在的に数多く存在することが推測される。

和田氏が発信する多くの情報には情報源の開示がない。本レポート開示前に本レポート・資料の内容に事実と異なる部分があるかどうか反論を求めたが、和田氏から回答はない。和田氏が表示してきた情報（特に AAA 級品妥当価格）の裏付けとなる合理的な根拠となる資料開示を求める。

²³ <http://gallery-precious.jp/>; <http://blog.murablo.jp/sp/seikatsu/kiji/74287.html>
<http://www.moan.jp/cnts/top/>

4. 米国コイン専門家の意見書

今回は客観的検証の一つとして、多くの米国コイン専門家にも第三者意見を求めた。和田氏のコインビジネスに関する米国専門家の第三者意見のいくつかを抜粋紹介する。

第三者意見は、まず和田氏・当該事業者が販売時に発行しているコイン解説及び販売履歴詳細、当該事業者と和田氏のホームページ・ブログ記事主要部分、そして当該事業者が設定した「AAA級定義」を英訳し米国のコイン専門家に目を通してもらい、彼らの客観的意見を口頭及び書面にて頂いた。

これら専門家の意見書原本は認定翻訳士の翻訳を付け、本レポートに含まれない他資料とも合わせ、然るべき時に然るべき場所へ開示提出する予定である。

ヘリテージ・オークション社の意見書（ヘリテージ社は世界最大のコインオークション会社。：<http://www.ha.com/>）：

「弊社は、世界中のコレクターや投資家の方々とお取引いただいておりますが、和田氏のグレーディングや鑑定方法というものは存じ上げません。どのようにお考えになるかは和田氏のご自由にお任せいたしますが、コインの直接販売価格やオークション価格において、和田氏の言われるような等級付け方法や鑑定が反映されたという例は、過去に一度もありません。仮にそうしたことがあれば、コインの市場価格は現在よりはるかに上昇しているはずですが、私が申し上げたいのは、コインというものは、いずれも何らかのユニークな個性を有するものであり、同じグレードに分類されたコインであっても外観が異なりますし、販売価格もまた違うということが起こりうるということです。しかし、弊社の30年以上におよぶ経験から申すならば、和田氏がおっしゃるほど大きな差異があるとは到底思えません。和田氏による **PR65 Ultra Cameo 1897 \$2.50** コインの鑑定を例にご説明します。和田氏はこのコインを等級 **AAA**、妥当価格 **20** 万ドルと鑑定されています。弊社はちょうど本日、同じ種類のコインを直接販売

にて市場に売り出しました。そのコインは、PR65 Ultra Cameo より 3 ポイント高い PCGS/CAC PR68 Deep Cameo とグレーディングされたものですが、弊社はその売値を\$87,500 と設定しました。和田氏が鑑定された PR65 Ultra Cameo の価値は、グレードが 3 ランク上の PR68 Ultra Cameo より 2 倍以上高いということになります。これほどの差が出るというのは単に現実味に欠けているか、あるいは現実とはほど遠いことと言えるでしょう。

グレード内での格差ですが、NGC と PCGS がそれぞれ発行する価格ガイドは、コインのグレード別平均価格を基にした一般的な情報を提供するものです。

「プラス (+) 」グレードを付ける場合もありますが、それを除いては NGC、PCGS の両社ともに、同一グレードに属するコインの中では評価額に差を設けていません。そして、貴殿のご依頼人が所有されているような希少コインに関し、和田氏が主張されるような価格差がつく例というのは、私の経験では見たことがありません。あるとしても、価格差の幅のうち、開きの小さい部分に関するものに限られた話です。3月のオークションにおける達成価格を見れば、和田氏の主張を裏付ける結果となっていないことが分かります。」²⁴

国際プロフェッショナルコイン協会代表の意見書 (IAPN 国際プロフェッショナルコイン協会は世界中の主要コインディーラー・オークション会社・鑑定会社が加盟する 1951 年設立世界最大のプロフェッショナルコイン協会。日本からは 2 社が会員となっているが、和田氏を含む当該事業者は会員になっていない。 : <http://www.iapn-coins.org/>)

「AAA 級のような評価方法は、過去に一度も聞いたことがないものであり、国際的に認知されているものではありません。日本では認知されているのかもしれませんが、私は疑わしいと思います。この評価方法はコインの売値を釣り上げるために編み出されたものであり、その販売業者の取扱いコインにのみ用い

²⁴ ここでヘリテージ社が一例として参照したコイン PR65 Ultra Cameo 1897 \$2.50 は当該事業者が 2012 年 7 月 27 日に販売した次のコインを指す。
http://www.rarecoingallery.jp/SHOP/coin1897PF65_2_5_NGC_120726-R7Y9.html

られているのではないかと、というのが私の印象です。確信をもって申し上げますが、「PCGS "PF-67 cameo」の鑑定評価を受けるには、コイン表面にわずかな傷すらないことが必須であり、例外はありません。したがって、その評価を受けたコインがカテゴリー「B」に分類されるなどありえないことです。この見解が正しいものであるかを確認なさりたければ、貴殿の販売業者に対し、NGC か PCGS の「PF-67 cameo」評価を受けたスラブケース入りコインであってコイン表面に傷のあるものを提示してほしい、と頼んでみてはいかがでしょうか。そのような要求に応えることは、まず無理であろうと思います。」

スタックス・バウワーズ社の意見書（スタックス社は全米第2位の大手コインオークション会社: <http://www.stacksbowers.com/>）

「AAA」という等級認定ですが、私共はその等級呼称に認識はなく、米国の希少コイン市場において AAA という等級を用いた例は存じ上げません。和田氏の解説によるとプルーフコインは当時の大統領、議会関係者、銀行幹部と言ったブルジョア階級に配られたという記述が頻繁に見られますが、プルーフコイン発行時にそれらを確保していたのは、米国造幣局から直接的にコインを買い受けていたコイン収集家です。\$4 Stella のように米連邦議会の議員に配布されたコインのケースもございましたが、この\$4 Stella コインは、国際的に認められる貨幣を発行したいという米国の提案が形となったものであり、通常のプルーフコインとは、起源や本来の目的において異なるものです。

また、「100%完全品コイン」というコイン説明も頻繁に見受けますが、100%完全品であればプルーフ 70 もしくは MS70 というグレードになります。コイン説明にも間違いが散見されます。1879年\$4 ステラの存在枚数は4~5枚と説明されていますが、私共は2011年8月のオークションで同コイン6枚を売却しています。また、和田氏はコイン全てをAAA、AA、A、Bの4段階に分けて残存枚数を細かく記載していますが、ということは和田氏は残存するコインを全て見たということでしょうか。

更に重要なことですが、2009年ウルトラハイレリーフがMS鑑定からプルーフ鑑定になるという記載がありますが、MSやプルーフは製造方法を示すものであり、MS鑑定が将来プルーフ鑑定に変わることもあり得ません。同じように、1882/1883/1884-CC Silver Dollar DMPLのプルーフ・ライク(PL)が将来プルーフ鑑定になるという解説記載も見かけましたが、それもありません。プルーフライクが将来プルーフ鑑定に変更されることはありません。

希少コインの価値と売値に関して妥当な価格を探るには、過去のオークションにおける同種のコインの評価を研究されることを、一般論としてお勧めしたいと存じます。さまざまなオークションの落札結果をお調べになるのが最善の方法ですが、カリフォルニア州ニューポートビーチのPCGS社やフロリダ州サラソタのNGC社が提供する最新価格情報を利用するという方法がございます。あまり取引されていないコインや対比データがないコインの場合、その価値を判断するのは時として難しいですが、他の年代コインの取引結果を調べて合理的な推論を導くことが可能になるかと存じます。上述の価格情報は公開されており、コインの価値を評価する際の主要な情報源として、米国では広く用いられております。」

NGC社の意見書 (NGCはPCGSと並ぶ2大鑑定会社の一つ:
<http://www.ngccoin.com/>)

「NGCではAAA級なるステッカーも等級も認識しておりません。またそれらはNGC鑑定やNGCガイド価格に影響を与えるものでもありません。私どもは鑑定する全てのコインへ鑑定保証を付けます。AAAなる鑑定をする会社に鑑定保証書を発行できるかどうかを問い合わせてみてはいかがでしょうか。」

CAC社の第三者意見 (CAC社は大手鑑定会社。PCGS及びNGC鑑定コインのグレード認証を行う第三者機関。CAC鑑定はPCGS・NGC鑑定グレードを再鑑定し、CAC社にグレード認証されたコインへはCACのラベルが既存コインケ

ースに貼られる。この鑑定システムはコイン市場の信頼維持に微妙なバランス効果をもたらし、鑑定インフレの抑止力になっている。今回の 39 枚オークションでは CAC 鑑定の結果、39 枚中 6 枚について CAC グリーンラベルを獲得。²⁵⁾

「AAA ロイヤルアートのステッカーは米国のコイン業界では認識されていませんし、ロイヤルアートの AAA 判定ステッカーはコインの価値を引き上げるものではありません。」

コインディーラーズ ニュース誌の一面記事 (The Coin Dealers News は別名「グレイシート」として知られる卸価格情報誌。1963 年以降、コイン業者・オークション会社にとり価格情報バイブルと位置付けられる代表的業界誌。)

THE COIN DEALER NEWS

May 30, 2014

(The Market in Depth: 以下訳文)

「伝えられるところでは、東京のあるコイン業者に騙されて高額な米国コインを相場の 4 倍か 5 倍、果ては 10 倍もの価格で購入してしまう例がアジアで頻発しているという。その業者は独自の格付け基準を用いているようだが、米国市場はその基準を認知していない。その業者の方法とは、従来の数字による格付け評価を独自の基準で「B」「A」「AA」「AAA」と細かく格付けし、それを CAC 社の鑑定シールと類似したシールに表示して PCGS 社や NGC 社の鑑定コインに貼付するというものだ。こうして「AAA」と格付けされたコインには、米国コイン市場における現在の市場価格の数倍の販売価格が付けられている。例えば、その東京の業者のホームページによると、NGC 社が「プルーフ 67 カメオ」と鑑定した 1879 年 4 ドルコイン・Flowing Hair Stella が 100 万ド

²⁵⁾ 資料 5 を参照。

ル余りの値段で売りに出されているが、それと同一等級に格付けされた同様のコインに関する過去二年のオークション実績を見ると、落札価格は2012年1月5日が264,500ドル、2013年1月10日が264,375ドルという結果だった。ちなみに2012年のコインは、NGC社のスター称号付きのものである。また、2012年11月に、ある日本人投資家がNGC社の「プルーフ67」鑑定が付いた1908年10ドルコイン・Indianを218,000ドルで購入したとの話もあるが、全く同じコインが2011年7月8日のHeritageオークションでは69,000ドルで落札された。こうした例の大半は、ミントステイト型モーガン・ダラー・コインかプルーフ型米国コインという高額コインに関するものだ。この業者を介した取引による米国希少コイン市場への影響は明らかでないが、同様の価格水準でアジアの投資家に販売されたコインは数百万ドルに上ると見られており、現在、こうした不当行為の実態を暴く努力が続けられている。」

以下原文：

‘Numerous Asian buyers have reportedly been duped into buying high-end US coins at four, five and even ten times their market values from a Tokyo dealer who has created a grading system that is not recognized in the US market. Affixing small oval stickers to PCGS and NGC graded coins, similar to CAC stickers, the dealer has created a system of ranking coins as B, A, AA and AAA grade levels within a single numeric grade designation. Coins stickered as ‘AAA’ have been priced at multiples of current market values found in the US market. One example posted on the Tokyo dealer’s website purports that an 1879 \$4 Flowing Hair Stella graded by NGC as Proof 67 Cameo is available for just over \$1 million when similar coins graded exactly the same have sold at auction during the past two years for \$264,500 on January 5, 2012 and for the \$264,375 on January 10, 2013. The coin sold in 2012 has an NGC star designation. In another example, in November 2012 a Japanese investor was said to have paid

more than \$218,000 for an NGC graded Proof 67 1908 \$10 Indian. The very same coin was previously sold in a Heritage auction for \$69,000 on July 8, 2011. Much of the material involved is high-end Mint State Morgan Dollars and Proof US issues. The impact this dealer's purchases have had on the US market is unknown, but coins worth several million dollars have allegedly been sold to Asian investors at similar price levels and an effort is being conducted in Asia to expose those abuses'

5. ディーラー登録について

ANA

コイン関連協会へのディーラー登録についてだが、和田氏は「当社は1987年からANAに加盟している」とブログで再三自社を紹介している。²⁶ところがANA²⁷に問い合わせたところ、和田氏が関連する法人は登録されていないとのこと。「当社は1988年からANAに加盟」とあるが、和田氏が日本にてコインビジネスを始めた最初の法人(株)コレクターズジャパンの設立は2000年である。²⁸

ANAとはAmerican Numismatic Associationの略で1891年設立、約3万5千人の会員からなる米国最大のコイン協会。個人のコイン収集家がメンバーの主体であり、オークション・コンベンションの開催、コイン博物館・コイン図書館の運営、月刊誌・特別誌の配布、セミナー開催等コイン収集啓蒙活動を行っている。年間28ドルを支払えば誰でもメンバーになれる。

PNG

米国でプロのコインディーラー・オークション会社が会員主体となりディーラーの倫理規定を含むコイン業者としてのステータスを規律しているのはPNG協会である。そのメンバー数は約300社と厳選されているが、ここにも和田氏及び和田氏関連企業の登録はない。PNGはProfessional Numismatists Guildの略で1955年設立。²⁹

²⁶ 資料4の24頁、106頁及び208頁参照。

2009年には「当社は1988年からANA加盟」と書いてあるが、2012年のブログには「1987年からANA加盟」となっている。1987年・1988年は「外交官財テク事件」の渦中にある時期。

²⁷ <https://www.money.org/>

²⁸ 資料4の276頁参照。

²⁹ <http://www.pngdealers.org/>

日本貨幣商協同組合

日本には「日本貨幣商協同組合」が存在するが、ここでも和田氏関連企業は会員となっていない。³⁰

PCGS 社

米国大手鑑定会社の PCGS 社にはコレクターズジャパン代表和田英之名義（東京都渋谷区住所）でディーラー登録がなされている。しかし、2005 年以降の販売契約当事者であるロイヤルアート株式会社とギャラリープレシヤス株式会社名義でのディーラー登録はない。³¹

NGC 社

PCGS 社と並ぶ米国最大手鑑定会社 NGC 社に和田氏・当該事業者名義のディーラー登録はない。³²

NCIC

米国には「コイン犯罪情報センター」（NCIC）と呼ばれるコイン業界に特化した犯罪取り締まり機関がある。³³ NCIC は Numismatic Crime Information Centre の略。和田氏は 2012 年 11 月以降「今までも FBI、全米の警察からも捜査・調査依頼が来ておりましたが」とネバダブログに記載しているが³⁴、当該警察に問い合わせたところ和田氏或いは和田氏関連企業に直接調査依頼をしたことはなく、そのような名称は聞いたことがないとのこと。したがって、これは NCIC のホームページに掲載された犯罪情報の転載と思われる。これら犯罪情報は NCIC

³⁰ http://www.jnda.or.jp/index_jp.html

³¹ <http://www.pcgs.com/dealers/Default.aspx?c=1>

³² <http://www.ngccoin.com/services/dealer-listing.aspx>

³³ <http://www.numismaticcrimes.org/>

³⁴ 資料 4 の 239 頁参照。

にアドレス登録することによって誰にでも自動的に情報がメール送付される仕組みになっている

6. 当該事業者の粗利益

日本での販売価格は米国市場価格の**5倍以上**

当該事業者主催のネットショップ（レアコインギャラリー）売却済開示情報によると2012年8月以降2014年3月まで20か月間のコイン売上総額は約9億3千万円³⁵。そのうち100万円超で売却されたコインの売上は約6億3千万円、100万円超コインの販売時における鑑定会社価格を基にした推定仕入れコストは約2億円。当該事業者が過去20か月の間に100万円超で売却したコインの（輸入税・保険料・送を含む輸入コスト前の）価格は仕入コストの5倍。³⁶ ただし、2013年4月28日付ネバダブログでは\$4コインを1億円で売却した旨報告しているが³⁷、レアコインギャラリー売却済リストに掲載なし。したがって、上記以外にも掲載していない売却済コインがある可能性はある。

和田氏本人のブログ内容とネットショップで自己申告している販売履歴内容をベースにすると、日本での売上は過去14年間で350億円から400億円前後と推計される。なお、和田氏販売のダイヤモンドも「AAA級」等の表示のもと当該事業者により市場価格の2倍から3倍で販売されている。³⁸ 結果、コインだけではなく、ダイヤモンド他の宝石装飾類、絵画も含めると当該事業者の売上総額は更に膨らむ。和田氏のダイヤモンドビジネスに関しては本レポート57頁以降を参照。

米国ディーラーの利益マージン

米国専門家達によると、米国コインディーラーの近年における利益マージンは平均10%で高くても20%。オークション代理は5%。高額コインの場合にはオークション代理コミッション率が交渉により5%より更に低くなる。

³⁵当該事業者のネットショップのアドレスは<http://www.rarecoin-gallery.jp/> 資料6と7も参照。

³⁶根拠は本レポート30頁及び資料6と7を参照。

³⁷資料4の295頁参照。

³⁸資料4の50頁及び111頁参照。

7. 実証

当該事業者の日本における販売価格が米国市場相場から大きくかい離している事実を実証する必要がある。それは市場実勢相場を反映する透明度の高い主要オークション販売により実証が可能となり、その結果、損害額も決定される。

今回は、既に当該事業者から買取拒否を受け、弊事務所へ救済を求めた投資家達が所有する米国コインのうち、それぞれの状況に応じてまずその一部である **39** 枚を選別、約 **3** か月間のマーケティング期間を経て、米国コインの最大オークションイベントの一つである **2014 年 3 月** のボルチモアオークションにて売却を行った。

以下は当該 **39** 枚のオークション結果まとめである。なお、今回の投資家達のコイン保有期間は約 **1 年半** から **7 年** の多岐に渡る。

- 当該事業者による当該 **39** 枚販売価格総額：**7 億 4665 万円**
- **2013 年 12 月** 時点オークション会社 **3** 社のオークション達成見積額：**2 億 2 千万** から **2 億 3 千万円** (**\$=100 円**)
- **2014 年 3 月 27 日** 当該 **39** 枚ボルチモアオークション結果総額：**約 2 億 3 千万円** (**\$=100 円**)
- **39** 枚中、**11** 枚のコインでオークション高値記録を達成。

結論として、和田氏が編み出した **AAA** 級鑑定や妥当価格には意味がなく、米国コインの市場価格は **PCGS** 価格もしくはオークション履歴に沿った価格であることが実証された。**39** 枚の損害額は **5 億円強** にのぼる。当該オークションまでの経緯と不当表示分析の詳細は添付資料 **5** を参照。

8. 米国落札額と日本販売価格の格差（鑑定番号一致コイン）

鑑定済みのコインにはそのコインのみが持つ鑑定番号のラベルが貼られる。したがって、（当該事業主もしくは和田氏の仕入先米国コイン商が）日本での販売直前にオークションで落札仕入れしたコインがいつ、どこで、いくらで落札されたのかが判明でき、そのコインを日本に持ってきていくらで売却したのかがピンポイントで確認できる。鑑定番号一致コインのオークション落札価格とそのコインの日本における販売価格は資料 5 及び資料 7 も参照。

これまでの調査の結果、かなりの枚数について当該事業者が日本で販売したコインと鑑定番号が一致するコインの落札価格（＝仕入価格）が判明している。下の鑑定番号一致コインリストは調査分析結果の一部で、比較を容易にするために当該事業者の販売価格は日本販売日の為替レートでドル換算されている。

【和田氏・当該事業者による同一コイン（鑑定番号一致）の米国落札価格と日本売却価格の比較】

当該事業者販売済 コイン名とグレード	同一コイン 米国オークション 落札価格	オークション後 当該事業者による 日本販売価格
1883 G\$1 PR66+ DC	\$32,775	\$126,039
1886 \$2.5 PF66 UC	\$24,150	\$125,558
1901 \$2.5 PF68 UC	\$36,225	\$221,283
1888 \$3 PR66 Cameo	\$27,600	\$116,897
1894 \$5 PF67+ UC	\$86,250	\$192,623
1899 \$10 PF66 UC	\$80,500	\$233,794
1906 \$10 PF66 UC	\$63,250	\$186,724
1892 \$20 PR65 UC	\$89,125	\$303,428
1903 \$20 PF65 Cameo	\$62,100	\$258,083
1904 \$20 PF65 UC	\$109,250	\$254,262
1914-P \$20 MS66	\$20,700	\$46,748
1885 G\$1 PF67 UC	\$21,850	\$157,895
1984 \$20 PF66 UC	\$141,000	\$667,774

1903 \$5 PF67+ Cameo	\$43,125	→	\$223,653
1908 \$10 PF67	\$69,000	→	\$218,212
合計	906,900		3,332,973

和田氏・当該事業者は独自の AAA 級解説で作為的付加価値を付け、オークション落札仕入価格と比べ尋常ではない価格差で日本で売却を行っている。したがって、日本の投資家（消費者）は（和田氏が売却額もしくは和田氏が定めた妥当価格で買取しない限り）購入した瞬間に大きな評価損を抱える。

なお、鑑定番号一致がなく、当該事業者が他の米国ディーラーやネットからコインを仕入れている場合にはピンポイントで仕入価格を識別することは難しいが、米国最大手のコインオークション会社であるヘリテージ社やスタックス社のオークション記録とコインディーラーニュース³⁹・PCGS・NGC等の価格ガイド（オークション結果を根拠に算出）を参照することで当該事業者の日本販売時と現在の市場実勢相場を調査分析することは可能である。

米国コインの評価額は毎月のように行われるオークション結果が根拠となり、その情報開示の透明度は高い。

日本の投資家にとっての大きな問題はそれらの情報が全て英語で行われているところにある。ネバダブログで連日経済政治コメントを行っている著名な和田氏のアドバイスだけが拠り所となっている。

³⁹ <https://www.greysheet.com/>

9. 2012年8月以降に販売されたコイン分析

開示すべき情報

2012年8月以降に売却されたコイン解説にも、上記米国専門家の指摘通り、根拠のないAAA級品価格、残存枚数、そして解説内容に多くの矛盾、誇大不当表示、事実誤認が氾濫する。ここで参照する売却済コインの解説書、価格等の情報源は当該事業者自ら運営開示するネットショップである。⁴⁰ 「資料6」はその公開情報をもとに2012年8月以降における100万円超コイン109枚の詳細をまとめたものである。「資料7」ではそのうち500万円超のコインについて販売時と最近のオークション記録をまとめた。

和田氏・当該事業者が販売時に投資家に向けて開示すべきは資料5や資料7、或いは本レポート37頁以降にあるようなオークション結果、実勢価格である。

売却済100万円超コインリストのまとめ

以下は資料6のまとめ。

- 2012年8月以降2014年3月まで（20か月間）のコイン販売総額：
9億2870万6180円
- 2012年8月以降2014年3月までの期間中の1枚あたり100万円超のコインの販売総額：
6億2933万2500円（販売総額の約7割）
- 上記100万円超コインの鑑定会社価格総額：
約2億円（\$2,012,455）⁴¹

⁴⁰ <http://www.rarecoin-gallery.jp/SHOP/115023/list.html>

⁴¹ ここでの鑑定会社価格とは販売時におけるPCGS社価格を指し、PCGS社価格とはコイン業者のPCGS鑑定コインに対する言値価格平均(average dealer asking prices)である。
<http://www.pcgs.com/prices/> 従ってコイン業者の実際の仕入額は鑑定会社価格より低い。オークション

AAA 定義と実際の食い違い

和田氏・当該事業者による AAA 級定義は以下の通り。⁴²

「AAA 級コイン：両面とも全く汚れがない完全な状態を指します。100 枚みて 4～5 枚しか存在しておらず、B ランクに比べ 20 倍以上稀少性が高いにも関わらず、価格は 2~3 倍しか違いません」。

この定義については本レポートの 45 頁以降でも米国の真正鑑定グレード定義と比較しながら詳しく言及するが、以下、簡潔にいくつかコメントをする。

和田氏定義：「両面とも全く汚れがない完全な状態を指します」

- 米国のコイン専門家達が指摘するように、「完全な状態」であれば鑑定グレードはプルーフ 70、MS70 になる。

和田氏定義：「AAA 級は 100 枚みて 4～5 枚しか存在しておらず」

- 資料 6 にある和田氏が販売したコインリストの残存枚数ではそのような比率になっていない。スタックス社も指摘していたが、残存枚数を 4 段階に分けたいのであれば、すべてのコインを和田氏自らの目で検品鑑定して 4 段階に分けて、鑑定番号を記録しなければ正確な数字は出ない。それとも和田氏は鑑定会社で経験を積んだ経歴があるのか。例えば資料 6 のリストでは和田氏自身が残存枚数 5 万枚、2 万枚、3 万 5 千枚、数千枚等と（主観的に）推定するコインが多数あるが、コインは世界中に拡散して収集家、投資家やディーラー達が保有しているため全ての検品は事実上不可能である。

結果を見据えて取引するコイン業者の言値を集計するため、鑑定会社の指標価格はオークション実勢価格より概ね高く、市場変化に少し遅れて更新される。

⁴² https://web.archive.org/web/20140413232035/http://gallery-precious.jp/coin_appraised_coin2.html このサイトは現在、当該事業者により削除されている。本レポート 52 頁も参照。

和田氏定義：「**B ランクに比べ 20 倍以上稀少性が高いにも関わらず、価格は 2~3 倍しか違いません**」

- 価格は 2~3 倍しか違わないと断定しているが（これ自体も米国専門家達は否定しているが）、当該事業者の実際の販売価格は PCGS 価格の 2~3 倍どころではなく、資料 6 では PCGS 価格の平均 5 倍以上、最高は 21 倍となっている。以下、2012 年 8 月以降販売 100 万円超コインの価格と PCGS 価格の比較まとめである。

- 販売価格が PCGS 価格の 3 倍 (300%) 以上は 109 枚中 87 枚。
- うち 5 倍 (500%) 以上は 40 枚。
- うち 10 倍 (1,000%) 以上は 8 枚。
- 最高は PCGS 価格の 21 倍 (2,100%アップ) で売却。⁴³

100 万円超コインの和田価格は市場実勢価格の 5 倍以上

資料 6 からわかるように、当該事業者の 100 万円超コインの価格は米国 PCGS 価格の 5 倍以上となっている。全てのコインでランク上のコインより大幅に高い価格となっており、これは常識外。繰り返すが、例えば、MS65 と鑑定されたコインは、どのように状態が良く美しくても同時期に 1 ランク上の MS66 の価格を超えることはない。

PCGS 価格の定義は 'Average dealer asking prices for PCGS-graded coins' つまり、PCGS 鑑定コインに対するディーラー言値価格の平均が PCGS 価格である。⁴⁴ ディーラー（業者）の言値（売値提示額）であるためディーラー（業者）利益を含み、結果、PCGS 価格はオークション実勢市場より概ね高めの価格設定になる。したがって、資料 6 では 100 万円超コインの和田価格が PCGS 価格の 5 倍以上であることを実証したが、コインディーラー(業者)の実際の仕入れコストは通常

⁴³ 資料 6 の 75 番目のコイン(1914-D \$20)を参照。

⁴⁴ <http://www.pcgs.com/prices/> 本レポート 56 頁も参照。なお NGC 価格も同様にコインディーラー（業者）の NGC 鑑定コインに対する言値価格平均である。2 大鑑定会社の指標価格が微妙に異なり、オークション実勢価格より概ね高く、市場変化に少し遅れて改訂される理由がここにある。

PCGS 価格より低い。和田氏・当該事業者の販売価格は、ヘリテージ社が指摘するようにグレードが数ランク上のコイン価格をも上回っているケースが多々あり、常識を超える。なお、PCGS 価格=B 級品価格と虚偽解説する和田氏のブログ記事は資料 4 を参照。⁴⁵

和田氏の不当表示を解く

コイン解説における和田氏の不当表示は枚挙にいとまがない。資料 5 では実際のオークション結果と共にそれらを細かく解説したので参照願いたい。

以下、資料 5 とは別に、2012 年 8 月以降に販売されたコインの解説書と和田氏による最近のブログ記事に関し、いくつかコメントする。資料 6 のエクセル表と合わせて検証していただきたい。

- 和田氏は 2014 年 6 月 13 日付ネバダブログで以下のように解説している⁴⁶。

「稀少金貨（価格の上昇）」

レアコインギャラリーにて販売させて頂きました【稀少金貨】ですが、以下のように上昇しています。

2012年8月15日 \$20 1915年S MS66 A級品 販売価格 1,200,000円

2013年6月14日 \$20 1915年S MS66 A級品 販売価格 1,575,000円

現在の<A級品>のPCGS社指標価格 A級品(+鑑定)は\$18,500 (1,887,000円)となっており、上記の販売価格を上回ってきています。ただ、稀少性からしますと現在でも\$30,000以上は当然であり、この8月以降、市場価格は\$30,000以上にむかって上昇していくものと見ております。その際には、《AAA級品》は\$100,000を通過点に\$200,000、\$300,000を超えていきましても何ら不思議ではありません。」

⁴⁵ PCGS 鑑定と PCGS 価格が B 級コイン対象であることを不当表示解説した和田氏のブログは資料 4 の 97 頁、150 頁、213 頁、240 頁、277 頁、340 頁、377 頁を参照。

⁴⁶ http://blog.livedoor.jp/nevada_report-investment/archives/4692652.html

この二つのコインはそれぞれ「資料 6」の 90 番と 92 番 1915-S \$20 MS 66 を指し、二つともグレードは MS66 である。上のブログで参照した MS66+ (プラス) 鑑定ではない。当該コインと比べてランク上である「MS66+」の PSGS 価格\$18,500 を使って当該 MS66 コインの価格が上昇したかのごとく解説するのは和田氏独特の誤認誘導である。

本来和田氏が開示すべき当該コインのグレードである MS66 の PCGS 価格は、販売時の\$6,250 から現在は\$5,900 に下降している。⁴⁷ 実勢価格は言値平均価格である PCGS 価格より更に低く、PCGS 鑑定の同グレードコイン(1915-S \$20 MS66)の過去 1 年間のヘリテージ社オークション売却価格は以下の通りである。

⁴⁸ 和田氏が開示説明すべきはこのような実勢価格推移である。

2014 年 4 月ヘリテージ社オークション結果：\$4,201

2014 年 2 月ヘリテージ社オークション結果：\$4,259

2014 年 1 月ヘリテージ社オークション結果：\$6,756

2013 年 9 月ヘリテージ社オークション結果：\$5,993

2013 年 6 月ヘリテージ社オークション結果：\$4,406

なお、上記から PCGS 価格が実勢価格を上回る数字であることが垣間見える。和田氏の説明では「PCGS MS66+鑑定は販売価格を上回ってきています」とあり、まるで MS66+ コインの価格が最近上昇したかのごとき説明であるが、MS66+ の PCGS 価格は上で参照されたコイン (資料 6 の 92 番) の販売前から (2013 年 4 月から) \$18,500 のままで変化はない。そもそもそれは当該コイン MS66 の価格ではない。これらは和田氏による典型的な不当表示、誤認誘導である。

和田氏はこの MS66 コインを独自に「A 級品」と呼び、A 級品は PCGS のプラス (+) 鑑定である (?) と根拠なく結び付けて MS66+ の価格を引き出して価格の正当化を行っているが、そもそも、日本の投資家が購入したこの二つのコインの

⁴⁷ <http://www.pcg.com/Cert/05946383/>

⁴⁸ <http://www.ha.com/> オークション価格履歴はヘリテージ社会員 (無料) になりネットで検索入手できる。

グレードは **MS66** であり **MS66+** ではない。ちなみに、これらコインは和田氏により市場価格の約 **3 倍** で売却されている。このコインのオークション価格推移は本レポートの **42 頁** も参照願いたい。

また、和田氏はプラス (+) の鑑定グレード品は **A 級品** という説明だが、資料 **6** で探せばわかるように、+ 鑑定を和田氏は時には今回のように **A 級品**、時には **B 級品**、時には **AA 級品** や **AAA 級品** と呼び、自ら編み出した和田グレードシステムの定義、和田価格との相関に自ら矛盾を作り出し、一貫性が保てない。ちなみに、プラス (+) 鑑定とは一ランク上のグレードに近いと鑑定されたコインにつけられる鑑定会社表記のこと。⁴⁹

- 2014 年 6 月 18 日のブログでは以下のように述べている。「稀少金貨では、世界一美しい金貨を日本人が所有していますが、この美しさは大方のアメリカ人ディーラーには理解できないもので、一部で+システムを導入したり **CAC** マークをつけたりして、差別化をはかり、**標準品の 2 倍から 3 倍の価格で販売** していますが品質は悪いままで。」⁵⁰

資料 **6** の **96 番** のコインにあるように、**PCGS** や **NGC** の+表記を **A ランク・プレミアムコイン** と称して標準品の **2 倍から 3 倍** (**96 番** コインでは妥当価格を **PCGS** 価格の **5 倍以上** に設定して **1 ランク上以上の価格**) で、そして **CAC** マークに似せた **AAA** マークを付けて販売しているのは和田氏本人だけである。米国コイン専門誌 **コインディーラーズ ニュース** 社もそれを指摘している。⁵¹ 米国のディーラーがどのコインをいつ+表記や **CAC** ステッカーを付けて **PCGS** 価格の **2 倍から 3 倍** の価格で販売したのか、和田氏は証拠根拠を示せなければ虚偽説明である。

- 資料 **6** のリストの **54 番** コインの鑑定番号は **PCGS 25531175**。 **55 番** の最初のコインの鑑定番号も **25531175**。したがってこの二つは同一コイン。恐らく **2012 年 8 月 13 日** に売却したコインを買い戻して **10 か月** 後に異なる二つのコイ

⁴⁹ + (プラス) 表記と * (スター) 表記の違いは本レポート **46 頁** 及び **48 頁** を参照。

⁵⁰ http://blog.livedoor.jp/nevada_report-daydream/

⁵¹ 本レポート **20 頁** 参照。

ンと混ぜてセットとして再販したものと推測される。当該事業者はこの同一コインを AA 級と説明。再販までの 10 か月間に同グレードコインの PCGS 価格に変化はない。しかし、鑑定番号一致の同一コインにも関わらず 54 番 AA 級コインの妥当価格が\$25,000 であったのが 10 か月後の 55 番では和田氏は\$100,000 と 4 倍設定している。AAA 級妥当価格は\$100,000 だったものが驚異的に\$500,000 へ 5 倍増。同期間の PCGS 価格は\$5,600 のままである。

PCGS 価格に変化がない中、当該事業者が設定する妥当価格のみが都合よく大幅アップ。更に、54 番は一枚で 100 万円 AA 級品と説明。55 番は 54 番の AA 級品と A 級品 +B 級品の 3 枚セットだが販売価格が（PCGS 価格に変化がないにも関わらず）54 番 AA 級の 100 万円 x 3 枚分より高い 462 万円になっている。同一グレードコインの残存枚数も恐らく価格上昇を正当化するために 250 枚から 200 枚に激減させ、55 番コイン該当レベルとする A 級品と B 級品の残存枚数を少なく改訂している。

- 添付資料 6 のリストの 90 番と 92 番も鑑定番号が同じ、同一コイン。2012 年 8 月 15 日に売却したものを買取して 2013 年 6 月 14 日に再販したものと思われる。その 10 か月の間に鑑定会社の指標価格は\$6,250 から\$5,950 に下落している。しかし、当該事業者設定の販売価格と妥当価格はすべて大幅に上昇。PCGS 価格と和田価格の間に一貫した相関関係なし。このコインの価格推移については本レポート 43 頁も参照。

- これ以外にも資料 6 からは残存枚数、PCGS 価格推移、和田価格に一貫した相関関係がないこと、売った時期により妥当価格や残存枚数が変化している例が見つけられることと思う。

10. 主要コインの価格推移

オークション実勢価格

参考までに、500万円超のコインについてだけ、米国最大のオークション会社であるヘリテージ社のサイト及びスタックス社の協力も得て、販売時と直近の同グレードコインのオークション履歴を資料7に掲載した。500万円超のコイン購入者にとり、現実を直視することになる。「和田価格」も「和田AAA鑑定」も存在しないし、価値もない。

資料7の表の右側にあるオークション履歴の欄は、2012年8月以降、当該事業者が売却した500万円超のコインの市場実勢価格である。同グレードだけではなくランクが一つ上のコインのオークション履歴もできるだけ掲載した。

ヘリテージ社が指摘するように、和田氏の日本における高額コイン販売価格は数ランク上のコイン価格をもはるかに超えたものが多い。

販売数の多いコインの価格推移

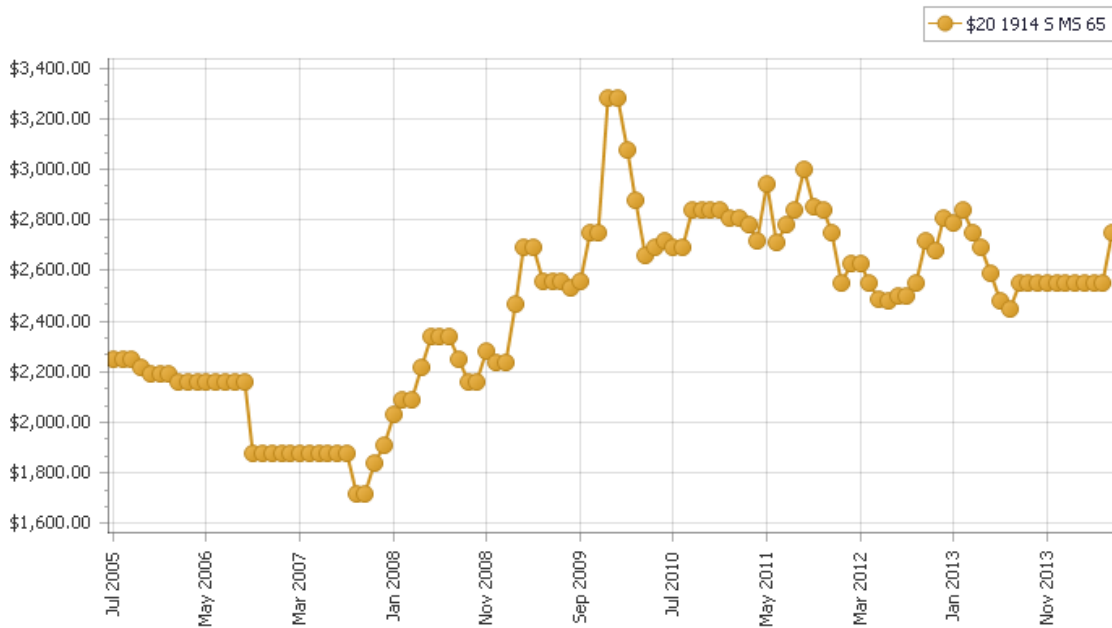
以下、資料6から特に販売数の多いコインに焦点を当て、市場実勢価格の推移、和田価格とのかい離状況を実証する。情報元は2大鑑定会社であるPCGS社とNGC社のウェブサイト。

なお、次ページ以降のページ下部分にあるNGC社のグラフはNGC鑑定コインに対するディーラー（業者）言値平均（=NGC価格）の8年間の推移で、ページ上にあるPCGS社のCoin Factsが開示するオークション結果（実勢市場価格）とは一致しない。グラフは視覚的に過去8年間の相場の流れをつかむために利用し、実勢価格は直近のオークション結果を参考にコイン売買に臨むことが賢明である。

1914-S St Gaudens \$20 MS65 (2014 年 6 月現在の PCGS 価格は \$2,600)

MS65	MS66 (1 ランク上)	和田氏販売価格 ⁵² 販売日を替レート \$ 換算
PCGS 鑑定コイン・オークション結果		
2014 年 2 月 \$2,368	2014 年 3 月 \$7,050	2013 年 7 月 \$16,784
2014 年 1 月 \$3,819	2013 年 6 月 \$7,638	2013 年 7 月 \$17,170
2013 年 9 月 \$2,233	2012 年 4 月 \$7,475	2012 年 10 月 \$12,525
2013 年 6 月 \$2,820	2012 年 1 月 \$9,775	2012 年 10 月 \$12,769
2013 年 5 月 \$2,756	2012 年 1 月 \$9,200	2012 年 10 月 \$12,621
NGC 鑑定コイン・オークション結果		2012 年 10 月 \$12,769
2014 年 1 月 \$2,350	2013 年 4 月 \$6,756	2012 年 10 月 \$12,769
2013 年 11 月 \$3,755	2012 年 1 月 \$6,325	2012 年 9 月 \$12,721
2013 年 4 月 \$2,632	2011 年 7 月 \$6,038	
2013 年 2 月 \$2,585	2010 年 4 月 \$8,050	
2012 年 7 月 \$2,300	2010 年 1 月 \$6,325	

(PCGS Coin Facts)



(NGC)⁵³

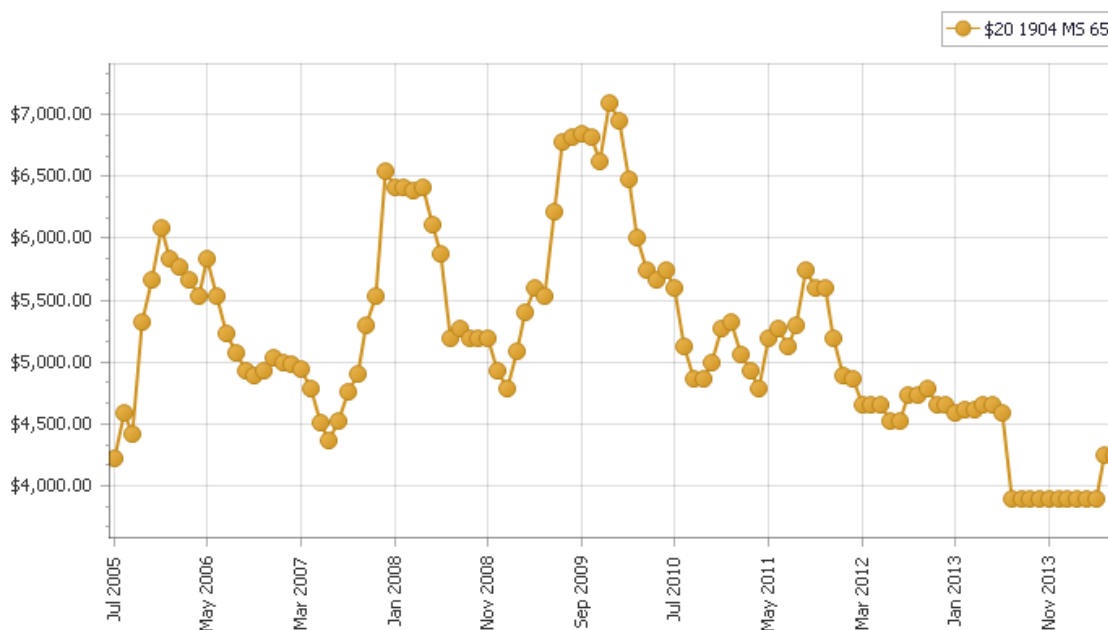
⁵² 資料 6 のコイン番号 77 から 82 番、84 番、85 番を参照。

⁵³ <http://www.ngccoin.com/price-guide/us/st-gaudens-20-70/1914-s-20-ms-19166-65-price-history-coinid-19166>

1904-P Liberty Head \$20 MS65 (2014年6月現在のPCGS価格は\$4,250)

MS65	MS66 (1ランク上)	和田氏販売価格 ⁵⁴ 販売日を替レート\$換算
PCGS 鑑定コイン・オークション結果		
2014年5月 \$3,819	2014年4月 \$5,288	2013年12月 \$15,086
2014年4月 \$4,700	2014年3月 \$5,875	2013年10月 \$16,227
2014年4月 \$3,055	2014年2月 \$6,756	2013年8月 \$16,098
2014年4月 \$4,406	2014年2月 \$6,463	2013年7月 \$31,428
2014年1月 \$4,994	2014年2月 \$6,463	2013年6月 \$31,763
NGC 鑑定コイン・オークション結果		2013年6月 \$31,763
2014年4月 \$4,406	2014年5月 \$7,520	2013年6月 \$16,940
2014年2月 \$3,173	2014年3月 \$6,463	2013年6月 \$16,940
2014年1月 \$3,819	2014年2月 \$6,463	
2013年9月 \$3,290	2014年2月 \$6,999	

(PCGS Coin Facts)



(NGC)⁵⁵

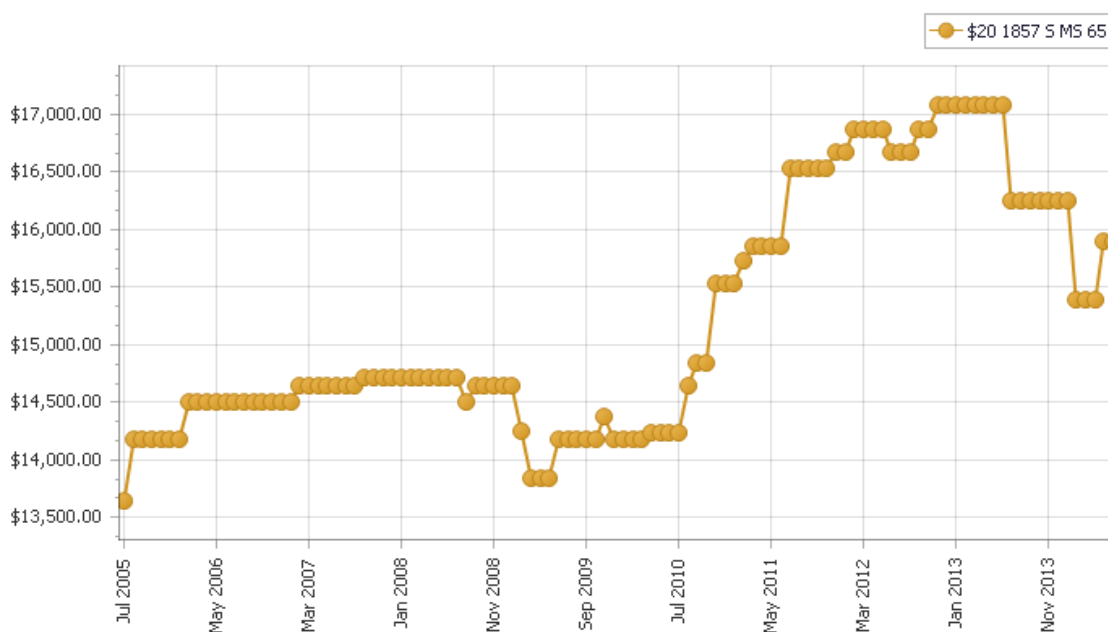
⁵⁴ 資料6の34番から41番コインを参照。

⁵⁵ <http://www.ngccoin.com/price-guide/us/liberty-head-20-69/1904-20-ms-65-price-history-coinid-19045>

1857-S Liberty Head \$20 MS65 (2014 年 6 月現在の PCGS 価格は \$16,000)

MS65	MS66 (1 ランク上)	和田氏販売価格 ⁵⁶ 販売日為替レート \$ 換算
PCGS 鑑定コイン・オークション結果		
2014 年 2 月 \$14,688	2013 年 8 月 \$32,900	2013 年 8 月 \$50,796
2014 年 2 月 \$12,338	2013 年 7 月 \$33,030	2013 年 8 月 \$51,252
2013 年 12 月 \$14,100	2013 年 1 月 \$47,000	2013 年 7 月 \$44,489
2013 年 4 月 \$14,100	2012 年 8 月 \$35,250	2013 年 7 月 \$44,360
2013 年 4 月 \$14,100	2012 年 8 月 \$35,250	2013 年 6 月 \$50,080
NGC 鑑定コイン・オークション結果		
2014 年 4 月 \$18,800	2014 年 4 月 \$25,850	
2013 年 4 月 \$10,575	2013 年 4 月 \$17,625	
2013 年 8 月 \$10,590	2013 年 4 月 \$17,625	
2013 年 3 月 \$11,515	2013 年 1 月 \$19,388	
2012 年 12 月 \$15,290	2012 年 7 月 \$20,700	

(PCGS Coin Facts)



(NGC)⁵⁷

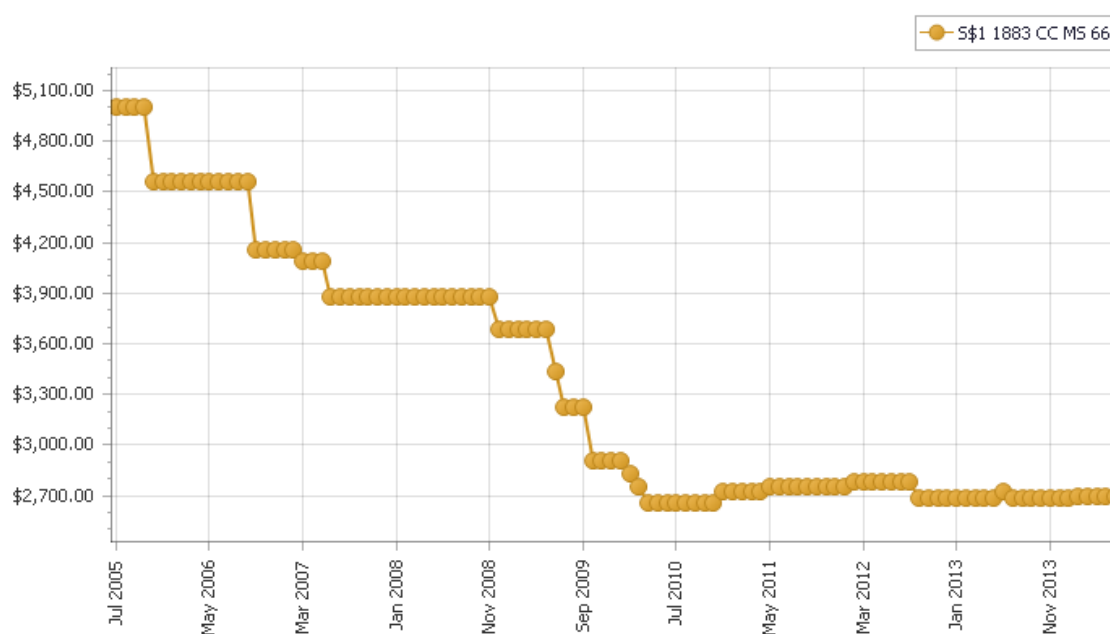
⁵⁶資料 6 の 1 番から 5 番コインを参照。

⁵⁷ <http://www.ngccoin.com/price-guide/us/liberty-head-20-69/1904-20-ms-65-price-history-coinid-19045>

1883-CC Morgan S\$1 MS66 DMPL (2014年6月現在のPCGS価格は\$3,200)

MS66	MS67 (1ランク上)	和田氏販売価格 ⁵⁸ 販売日を替レート\$換算
PCGS 鑑定コイン・オークション結果		
2014年5月 \$2,820	2008年7月 \$27,600	2013年10月 \$18,357
2014年3月 \$3,055	2000年2月 \$9,200	2013年8月 \$17,373
2014年2月 \$2,350	1998年3月 \$10,062	2013年6月 \$16,091
2014年1月 \$1,821		2013年6月 \$16,119
2013年9月 \$2,115		
NGC 鑑定コイン・オークション結果		
2012年7月 \$1,955	2014年4月 \$16,450	
2011年3月 \$2,070	2010年12月 \$16,100	
2008年3月 \$2,243	2010年1月 \$14,950	
2007年7月 \$2,185	2007年1月 \$10,925	
	2006年9月 \$9,200	

(PCGS Coin Facts)



(NGC)⁵⁹

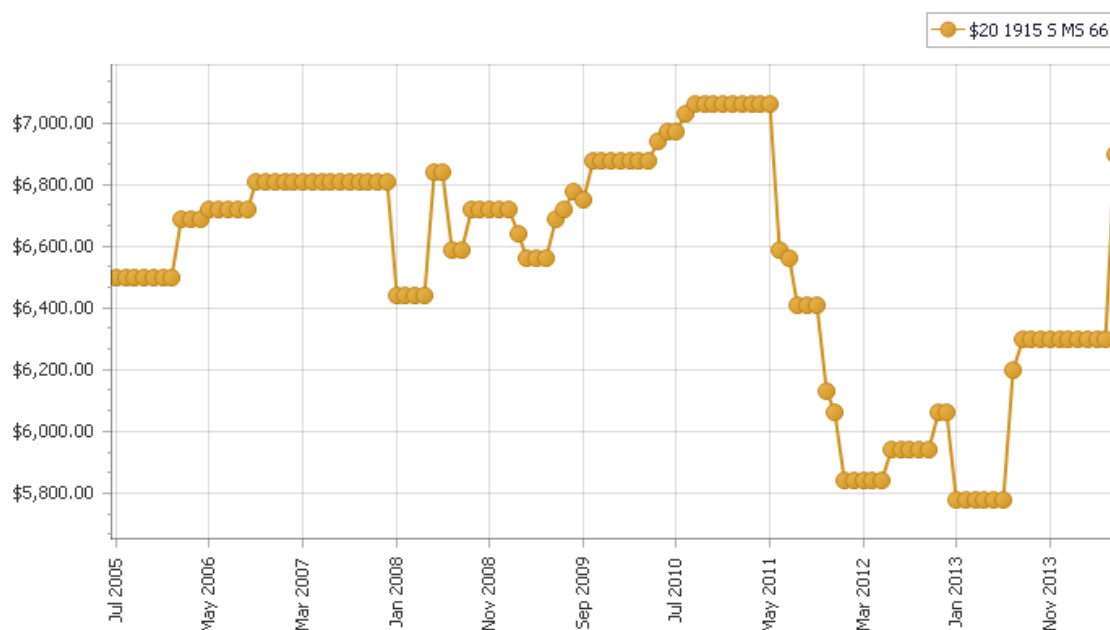
⁵⁸資料6の13番から16番コインを参照。

⁵⁹ <http://www.ngccoin.com/price-guide/us/morgan-dollars-49/1883-cc-s-1-ms-66-price-history-coinid-29028>

1915-S St Gaudens \$20 MS66 (2014 年 6 月現在の PCGS 価格は \$5,900)

MS66	和田氏販売価格 ⁶⁰
PCGS 鑑定コイン	販売日為替レート \$ 換算
2014 年 4 月 \$4,201	2013 年 7 月 \$63,756
2014 年 2 月 \$4,259	2013 年 6 月 \$16,694
2014 年 1 月 \$6,756	2012 年 11 月 \$14,902
2013 年 9 月 \$5,993	2012 年 8 月 \$15,214
2013 年 6 月 \$4,406	
NGC 鑑定コイン	
2012 年 12 月 \$4,406	
2011 年 11 月 \$4,025	
2010 年 7 月 \$6,038	
2010 年 4 月 \$6,325	

(PCGS Coin Facts)



(NGC)⁶¹

⁶⁰資料 6 の 90 番から 93 番コインを参照。

⁶¹ <http://www.ngccoin.com/price-guide/us/st-gaudens-20-70/1915-s-20-ms-19168-66-price-history-coinid-19168>

11. 問題の争点

和田氏独自の発案による AAA 級鑑定システム

問題の核心は、米国コイン業界やコイン投資自体にあるのではなく、当該事業者による販売時の不当表示、不適切な動機づけと影響力の行使にある。当該事業者の不適切な動機づけや影響力の行使によって、購入者の意思形成が正確になされないまま、もしくは誤認状態のままで日本の投資家（消費者）と事業者が契約に至っている。コイン解説書とブログ販促記事における虚偽説明と不当表示は大量反復で意図的と言わざるを得ない。

和田氏は「AAA 級」という独自に編み出したコイン評価名称を用い、個々のコイン解説書には事実と異なる説明・情報が氾濫し、消費者に不利益となるオークション実勢価格等の情報はまったく伝えない。当該事業者の言動により消費者を誤認・錯誤に陥らせ、市場相場からはるかにかい離した桁違いの価格で売却をしている。個々のコイン解説については資料 5、6、7 及び当該事業者が運営するネットショップサイト⁶²の販売済ページを参照願いたい。

また、当該事業者はブログでコイン・ダイヤモンドを含む投資情報を頻繁に出しており、事業者による「現物資産」購入の強い勧めが絶大な影響力を持つ。ブログ内容（資料 4）にも真実とは異なる情報が氾濫する。日本の消費者にとり、アメリカの実勢価格を調べることは容易ではない。米国の専門家やメディアは和田氏の AAA 級システムが営利目的で根拠のないものであることを断言しており、米国ディーラー専門誌は日本の投資家達が「騙されている」ときっぱりと明言している。⁶³

本レポートの資料 5、6、7 でも当該事業者の販売価格が市場価格からはるかにかい離した価格であることを実証した。資料 5 の 39 枚のコイン説明書によると、実に半数以上のコインで、「これは AAA 級 100%完全品であるので将来は 100 万ドル（約 1 億円）の評価になる」といった解説がなされている。それらの不当表示のもと、多くのコインが市場価格の 5 倍以上（10 倍前後もある）で販売されていた。それらのコインの米国での市場価格は、販売時も現在でも、和田氏が喧伝した 100 万ドルの数十分の一である。当該 39 枚の差損額は約 5 億円にのぼる。

⁶² <http://www.rarecoin-gallery.jp/SHOP/115023/list.html>

⁶³ 本レポート 20 頁を参照。

当該事業者の粗利益と投資家達の欠損は巨額であり、これは氷山の一角に過ぎない。

販売価格については「米国でのコイン仕入れ額にコミッション率 10%を乗せて日本で売っています」という事業者の説明示唆（ブログ説明を含む）を聞き、それをブログで確認し⁶⁴、結果、当該事業者の販売価格は米国市場価格に沿ったものである、と考えていた投資家達が大半である。

米国コイン市場の価格情報はほぼ全てが英語による限られた情報であるため、経験豊富な和田氏と日本の消費者の情報の質・量・知識並びに交渉力の格差は歴然としている。投資家（消費者）は長年米国コイン取引を反復継続してきたプロである当該事業者の口頭説明・解説文内容を完全に信頼した上で意思決定をしており、すべてを日本の消費者の自己責任に求めることは極めて不適切と考える。

日本には、残念ながら、これまでに弊事務所の救済を求めてきた方々以外にも人生を狂わされ、途方に暮れている同様の消費者が多数存在すると推測している。当該事業者が根拠のない「AAA 級・100%完全品」表示を使っている事実、和田氏の日本でのコイン販売価格が米国市場価格から「けた違い」で乖離している事実、販売時には「将来は 100 万ドル」のような過大表示が氾濫しており、元本欠損のリスク告知は皆無である。手数料 10%等の虚偽説明、今後も同様のケースが増え続ける可能性があること等に鑑み、事実関係を開示して警鐘を発すると共に、社会から要請されている事業者の法的責任を問う。また、今回のようなコレクター商品販売に関する消費者保護法の整備、救済措置の強化も促したい。

米国コイン業界やコイン投資自体に問題はない

繰り返したい。本件の問題の本質は米国コイン業界やコイン投資自体に問題があるのではなく、コインへ AAA 級品・100%完全品といった根拠のない評価と間違った商品情報を当該事業者（販売側）が消費者（投資家）に与え、欠損リスクを伝えず、オークション履歴を含む市場情報を正確に投資家に伝えない事業者の行動により消費者が誤認し、市場相場から大きくかい離した桁違いの価格で購入、結果、消費者に甚大なる投資欠損を与えていることにある。

⁶⁴ 添付資料 4 の 41 頁, 83 頁, 143 頁, 145 頁, 225 頁, 300 頁, 317 頁を参照。

12. コイン鑑定について

米国鑑定会社のグレーディング

PCGS 社（1986 年創立）、NGC 社（1987 年創立）のグレード鑑定は 70 段階で分けられており、コイン業界の絶対基準である。同じ年代の同種コインではグレードの数値が 70 に近いほど価格が高くなる。グレードは保存状態、傷や汚れ、歪み、反り、希少性等が全て包括的に判断され 70 段階で数値が決定される。どちらの鑑定会社も数人のコンセンサスによりグレードが判定され、単独鑑定人による判断は行わない。PCGS も NGC も鑑定士によるコイン売買を雇用契約で禁じている。また、誰が鑑定依頼者かはわからないまま鑑定させるので、偏った鑑定が出ないシステムが構築されている。

全ての鑑定ケース（ケースはスラブと呼ばれる）には鑑定番号が明示されており、PCGS と NGC のサイトに番号を入力すると実物の写真画像データの他、市場価格、鑑定枚数のデータ等が確認できる。鑑定品が偽物であった時には購入価格を返却する保険サービスも鑑定保証の一つとして存在する。

米国コイン業界の人々が確認したように、日本で売主側の立場に立つ和田氏及び当該事業者が付けた「標準品＝オリジナル級＝B 級品」「100%完全品」「AAA 級品」「AA 級品＝スーパープレミアム級」「A 級品＝プレミアム級」等というランク付けは認知されていない。

あくまでも PCGS・NGC・CAC の鑑定が米国コインの絶対基準である。

鑑定用語の基本

ここでコイン鑑定の基本的用語について、例をまじえながら説明しておきたい。

例えばプルーフ 65 はプルーフ金貨＝特別鑄造コインの総合評価が 70 段階のうち上から 6 番目の 65 というランクにあるコインを指す。プルーフ 65 の中では上位にランクするがプルーフ 66 までには達しないコインには 65+（65 プラス）というグレード評価がつく。+表記以上の保存品質を持つコインは次の段階であるプルーフ 66 になる（一つのグレードの中で 4 段階に評価が分かれることはないが、+という評価が付くことはある）。

プルーフ、PR、PF、すべて同じ意味。PR 表記は PCGS 社鑑定 of プルーフコイン、PF は NGC 社鑑定 of プルーフコインの表記。プルーフとは記念コイン用の「鑄造方法」を示す名称で、グレードの良し悪しを意味するものではない。

ちなみに、和田氏及び当該事業者はウルトラハイレリーフ MS コインが将来はプルーフ鑑定になり、その際には価格は最低でも 2 倍以上になる、という触れ込みで販売をしているが⁶⁵、既に鑄造された MS コインが後になってプルーフコインになることは理論的にあり得ない。またモーガン銀貨のプルーフライク・コイン（プルーフのようなコインという意味）を将来はプルーフコインになるという当該事業者の解説も見かけるが、これも虚偽表示、あり得ないことを米国専門家と確認している。⁶⁶

コインで MS という表示がある場合には流通用に鑄造されたコインで使用されなかったコインを指し、MS とは Mint State の略。PL という表示は Prooflike プルーフライクの略で、特にモルガン銀貨に対して使われる表現、プルーフコインのような鏡状の美しい表面をしているコインを指す。DMPL という呼称は Deep Mirror Prooflike の略で、プルーフライク・コインの中でも極めて鏡状のコントラストが強いコインを指す。プルーフライク・コインはあくまでもプルーフのようなコインという意味で、繰り返すが「プルーフ」は鑄造方法を表すので、MS 鑑定がプルーフ鑑定になることはない。

グレード数値のうしろにある Cameo（カメオ）とはコインの鑄型が取りかえられる毎に最初に鑄造されたコインを指し、結果、枚数に限りがあり（約 25 枚ごとに鑄型を替えるたびに通常 1 枚か 2 枚）があり、霜状の白く粉が噴き出たような像の部分と背景が鏡のような光沢のコントラストが特徴。極度にコントラストが美しいカメオの場合、PCGS は Deep Cameo（ディープカメオ）、NGC は Ultra Cameo（ウルトラカメオ）という名称を与え、それらは同グレード数値のコインの中でも高い評価を受ける。ちなみに、プルーフコイン相場や鑑定枚数、グレード前後コインの相場や鑑定枚数をチェックする際に利用する PCGS 社の 5 ケタグレード ID 番号の最初の一桁が 8 であればカメオ、9 であればディープカメオである。

⁶⁵ 資料 4 の 307 頁参照。

⁶⁶ 本レポート 19 頁参照。

これ以外では **NGC** 社だけが採用している表記である*（スター）表記がある。これは+表記とはまったく異なり、見た目に高いアピール度があるコインに付記される **NGC** 独自の主観的評価。なお、**PCGS** は*スター表記を採用していない。

和田氏・当該事業者はこのスター表記を「限りなく一つ上のランクに近い」という偽りの解説のもとコインを販売しているが完全な不当表示であるので気を付けて欲しい⁶⁷。なお、**NGC** による、+と*表記の意味の違いについては以下のサイトを参照。

<http://www.ngccoin.com/coin-grading/scale-designations/plus-star.aspx>

コインガイドブックのバイブルとも言えるオフィシャルレッドブック（正式名は **A Guide Book of United States Coins**）では次のように書いている。

「コインを鑑定評価する人は売主であつてもいけないし、買主であつてもいけない。⁶⁸ そして、そのコインの市場価値に関して偏った関わりをもつてもいけない。今日において鑑定に特化した第三者鑑定会社は **NGC** 社と **PCGS** 社の二社である。**CAC** 社の鑑定認証はその二社の鑑定グレードについて更にプロの意見を提示するものである。」

和田氏が作り出した **AAA** 級品などというグレードは何の意味も価値も持たない。国際プロフェッショナルコイン協会代表者が証言する「売値を釣り上げるために編み出した方法だ」が全てを語る。

コイン鑑定の基礎

PCGS 社・**NGC** 社とも鑑定グレードは 1949 年にシェルドン氏（William Herbert Sheldon）というコイン収集家により発案された「70 段階のシェルドン鑑定基準（Sheldon 70 point scale）」にその基礎を置く。⁶⁹

その始まりは、1900 年代初期からシェルドン氏が自己のコレクションであるラージセントコインを分類するために用いるようになった、数字と価値を示す記述によるラージセントコイン用の鑑定評価法である。

⁶⁷ 資料 5 の 11 頁を参照。

⁶⁸ **PCGS** 社も **NGC** 社もコイン売買を禁ずる条項を鑑定士との雇用契約の基本条件としている。

⁶⁹ http://en.wikipedia.org/wiki/Sheldon_coin_grading_scale

シェルドン鑑定基準はその後、シェルドン氏が考案した単純な計算方法により一段階ずつの等級付けを行いその等級ごとの価値を鑑定するという方法を用いて、モルガンダラー・コインやピースダラー・コインをはじめとするあらゆるコインの状態とグレードを示す基準として世界的に採用されるようになる。

1950年代から1970年代にかけてのコイン収集は主に趣味の範疇であったため、当時のコイン関連の出版物や雑誌は、グレードに基づくコイン価格の提示を行う際にシェルドン・スケールを徹底的に活用するという思考も熱意にも欠けていたようだ。

しかし、その後1970年代に、全米貨幣協会（ANA）⁷⁰がコイン業者との間で、コインを評価する際にシェルドン鑑定基準による鑑定評価法を採用するよう取り決めを行った。これをきっかけにコインが趣味と同時に投資の対象となり、その収集活動がより洗練されたものとなるに連れ、シェルドン鑑定法は投資指標としてますます広まっていった。ANAによる同システムの採用は、その大きな契機となっている。

鑑定サービス業が登場する1980年代に彼らが70段階評価のシェルドン・スケールを採用するようになるが、こうした鑑定会社の狙いは、自社の鑑定サービスをコレクターのみならず、多くは投資家向けに売り込むことにもあった。彼らは、顧客がコインを購入し、それをむき出しのまま本に挟んだり金庫に保管したりするという方法からプラスチック防護ケースを購入するように奨め、セールスツールの一部として70段階のシェルドン・スケールを用い、それによりコイン真正鑑定と同時に状態保全のための防護ケース（このケースはスラブと呼ばれる）の販売を積極的に行うことができた。

極めて現実的なコメントもここでしておきたい。今日における鑑定サービス業者によるシェルドン鑑定法の用い方には、ばらつきがあることはいなめない。シェルドン氏は世界共通のコイン鑑定法の創設を目指していたが、物の見方は人間それぞれであり、人間は過ちも起こす。また鑑定する者によっては今回の事件のように独自の（時には営利を理由とする）視点に左右されるものであることから、その鑑定評価には当然のことながら開きがある。

⁷⁰ <http://www.money.org/>

鑑定評価のやり方を記した書物は数多いが、鑑定評価という作業は大抵の場合、それを行った鑑定者の主観的な見解であり、そしてその見解は、シェルドン鑑定法を鑑定者本人がどう解釈するかにもかかってくる。ただし、和田氏鑑定には、シェルドン鑑定法へのリスペクトが見つけられない。

今日のように、コイン収集が単なる趣味の範疇ではなく投資手段となってくると、当然ながら、周辺のサービスを提供する鑑定会社はサービスの買い手に対して自らのサービスを売り込みたいと願う彼らの「付加価値」を宣伝することも重要になる。その中で、PCGS・NGC・CACは激しい競争の中、コイン鑑定インフレを防ぐべく透明性を維持し微妙なバランスを保っている。

今回の米国における様々なヒアリング調査の中では米国コイン業界の健全性を保ちたいとする真摯で誠実な熱意をあらゆる場所と場面で確認した。特に3大鑑定会社、2大オークション会社の方々のコインへの熱意は米国の歴史探究の実証、ある意味では愛国心の裏返しであることも学んだ。米国コイン業界は徹底的な消費者保護環境に守られ、自浄作用が機能する透明度の高い投資市場である。

米国鑑定会社のコイングレードの定義

鑑定グレードの定義を認識しておくことがコイン投資の出発点となる。コインの鑑定評価における主な目的は、製造時の打刻の出来栄え、その後の保存状態、製造から現在までの汚れやキズを基に、そのコインの市場価値を決めることにある。

以下、シェルドン式コイン鑑定を基礎に ANA が定め、PCGS, NGC, CAC が採用するコイン鑑定定義（プルーフコインの70段階評価もMS鑑定に準ずる）の原文と日本語訳を紹介する。⁷¹ グレード65以上だけをここで紹介和訳する理由は和田氏が販売するコインがグレード65以上に特化しているため。

MS/Proof 70: The perfect coin. Has very attractive sharp strike and original of the highest quality for the date and mint. No contact marks are visible under magnification. There are no noticeable hairlines, scuffs, or defects. Eye appeal is attractive and outstanding. If copper, the coin is bright, with full original color and luster.

⁷¹ <http://www.money.org/explore-the-world-of-money/getting-started/ana-official-grading-standards.aspx>

MS/プルーフ 70: 完璧な状態のコイン。同じ製造所で同じ年に製造されたコインのうち、刻印が非常に鮮明で製造直後のツヤが最高レベルのもの。ルーペで見えるような当たりキズはない。目立ったヘアライン（髪の毛状の細かいキズ）、こすれキズ、その他の欠点は見当たらない。見た目の良さが際立っている。銅貨の場合、明るさがあり、製造直後の色合いとツヤが完璧に残っている。

MS/Proof 69: Has very attractive sharp strike and full original luster for the date and mint, with no more than two small non-detracting contact marks or flaws. No hairlines or scuff marks can be seen. Has exceptional eye appeal, with full original color and luster.

MS/プルーフ 69: 同じ製造所で同じ年に製造されたコインのうち、刻印が非常に鮮明で製造後のツヤが完璧に残っているもの。評価を下げないような小さいこすれキズやひび割れは2個まで。視認できるヘアラインやこすれキズはない。製造直後の色合いとツヤが完璧に残り、見た目の良さが卓越している。

MS/Proof 68: Has attractive sharp strike and full original luster for the date and mint, with no more than four light contact marks or flaws. No hairlines or scuff marks show. Has exceptional eye appeal. If copper, the coin is lustrous and has original color.

MS/プルーフ 68: 同じ製造所で同じ年に製造されたコインのうち、刻印が鮮明で製造後のツヤが完璧に残っているもの。軽度なこすりキズやひび割れは4個まで。視認できるヘアラインやこすれキズはない。見た目の良さが卓越している。銅貨の場合、ツヤがあり製造直後の色合いが残っている。

MS/Proof 67: Has original luster and normal strike for date and mint. May have three or four very small contact marks and one more noticeable but not detracting mark. On comparable coins, one or two small single hairlines may show, or one or two minor scuff marks or flaws may be present. Eye appeal is above average. If copper, the coin has luster and original color.

MS/プルーフ 67: 同じ製造所で同じ年に製造されたコインのうち、刻印の鮮明さは普通で製造直後のツヤが残っている。非常に小さいこすれキズが3、4個、またそれよりも目立つが評価を下げないキズが1個ある場合もある。同等のコインでは、小さい一本筋のヘアラインが1、2個、または軽微なこすれキ

ズもしくはヒビ割れが 1、2 個ある場合もある。見た目の良さは平均以上。銅貨の場合、ツヤと製造直後の色合いがある。

MS/Proof 66: Has above average quality of surface and mint luster, with no more than three or four minor or noticeable contact marks. A few light hairlines may show under magnification, or there may be one or two light scuff marks showing. Eye appeal is above average and very pleasing for the date and mint. If copper, the coin displays original or lightly toned color (which must be designated).

MS/プルーフ 66: コイン表面の状態とツヤは平均以上であり、軽微なまたは目に付きやすい当たりキズは 4 個まで。ルーペで軽度なヘアラインが 2、3 個または軽度なこすれキズが 1、2 個見える場合もある。同じ製造所で同じ年に製造されたコインのうち、見た目は平均以上で非常に良い方である。銅貨の場合、製造直後の色合いのまま、またはやや色落ちした状態であること（ただし、色落ちの度合いに関する指定に合致すること）。

MS/Proof 65: Shows an attractive high quality of luster and strike for the date and mint. May have a few small scattered contact marks, or two larger marks may be present. One or two small patches of hairlines may show. Noticeable light scuff marks may be seen on the high points of the design. Overall quality is above average and eye appeal is very pleasing. If copper, the coin has some attractive luster with original or darkened color, as designated.

MS/プルーフ 65: 同じ製造所で同じ年に製造されたコインのうち、刻印とツヤの状態は高レベルのもの。小さく拡散した当たりキズが 2、3 個またはそれより大きい当たりキズが 2 個ある場合もある。小さいまだら状のヘアラインが 1、2 個ある場合もある。コインのデザインの盛り上がっている部分に軽度だが目に付きやすいこすれキズがある場合もある。全体の状態は平均以上であり、見た目も非常に良い。銅貨の場合、製造直後の色合いのまま、または指定に合致する色落ちがあり、美しいツヤがある程度認められる。

13. 和田氏・当該事業者が定める AAA 級品定義とは

ホームページでの AAA 級品定義

以下、当該事業者の原文サイトから AAA 定義部分を抜粋する。⁷²

「鑑定がされていて、グレードが同じならどの金貨を買っても同じというわけではありません。実は、稀少金貨には 4 つのランク別けがあるのです。」

B ランク	いわゆる一般品であり、汚れやカビがある汚い表面をしています。(安いからと言って間違っても買ってはいけないランクになります)
A ランク	両面に汚れ・シミ等があるものの、B ランクよりは遥かに綺麗な表面をしています。
AA ランク	片面にだけ汚れ・シミがあるものの、ほぼ完璧な表面をしています。
AAA ランク	両面とも全く汚れがない完全な状態を指します。100枚見て4～5枚しか存在しておらず、B ランクに比べ20倍以上稀少性が高くなっています。

「そして上記のうち間違っても<B ランク>は買ってはいけないのです。幾ら稀少性がありましても、誰も欲しいと思わないからです。最も購入してよい稀少金貨は【AAA ランク】の金貨です。完璧な輝き、完璧な状態を何十年にも亘って保持してきた奇跡的な金貨であり、これらはいつの時代でも資産家・投資家・コレクター達に率先して買われているからなのです。勿論、選ばれた金貨であり、価格はそれなりに高いのですが、その高い価格を払う価値は十分あると言えます。なぜなら、この【AAA ランク】の金貨は、【B ランク】の一般品に比べ 20 倍以上も稀少性が高いにもかかわらず、価格は 2～3 倍しか変わらないからです。」

なお、このサイトは現在和田氏・当該事業者により削除されている。

上記定義は以下の英訳で米国のコイン専門家に紹介し、意見を求めた。

⁷² https://web.archive.org/web/20140413232035/http://gallery-precious.jp/coin_appraised_coin2.html

(The following is the definition of 'AAA-RANKING SYSTEM' given by the Japanese coin dealer 'Royal Art Japan/Gallery Precious Japan', represented by Mr. Hideyuki Wada)

'The table below shows the rankings of rare gold coins. Even with coins that are given the same grade, it does not mean that any coin of that grade that you buy will be the same. In fact, rare gold coins are given one of four ranks.'

Grade	
B	So-called "common" coin. Surface is blemished with dirt and/or mould (we strongly advise against buying coins of this rank, no matter how low the price).
A	Although still blemished with dirt, stains. etc. on both sides, the surface is much cleaner than B-rank coins.
AA	The surface is almost perfect, although there are some dirt and/or stains on one side only.
AAA	Both surfaces are in perfect condition, with absolutely no dirt. For every 100 coins, only 4 or 5 are given this rank, making them more than 20 times rarer than coins of B rank.

'We strongly advise against purchasing coins of B rank. This is because, no matter how rare they might be, nobody will want them. The best rare coins to buy are AAA-ranked coins. They are miracle coins that have maintained their perfect lustre and impeccable condition for many decades, and they have always been highly sought after by the wealthy, investors and collectors.

Of course, such select coins come at a price, but their value makes them worth paying such a high price.

This is because, although AAA-ranked coins are more than 20 times rarer than B-ranked coins, their prices are only two or three times higher.'

ネバダブログでの AAA 級品定義

なお、和田氏はネバダブログでも以下のように異なる AAA 定義や AAA 級品と B 級品の価格差解説を展開している。

2010 年 8 月 16 日⁷³

「正規に鑑定及び識別された【純金 ウルトラ ハイリリーフ金貨 2009 年版 MS70】は世界中から消えていっており、いずれはロイヤルアート鑑定以外は取引価格が大幅に低くなるかも知れません。すでに、【稀少金貨】の分野ではこの事態が起ころはじめており、ロイヤルアート鑑定シール付稀少金貨は無条件でかつ手数料なしで最大手のオークションに掛けられるという状態になってきています。今後、徐々に市場で認識が広まっていけば、世界中の稀少金貨市場でこのロイヤルアート鑑定が指標となるはずです。

<ロイヤルアート鑑定識別内容>

AAA 級品： 100%完璧な状態

AA 級品： かなり 100%に近い状態でありながら完璧ではないもの

A 級品： 比較的目立つ黒い斑点等が数ヶ所に見られるもの（購入対象外）

B 級品： 一般に売られているもので市場の 90%以上がこの B 級品（標準品）にあたります。」

2011 年 9 月 11 日⁷⁴

「【アンティーク稀少金貨】も同様で、AAA 級品はもはやアメリカ市場には存在していないかも知れません。標準品価格（B 級品）の 3 倍を出しましても買えない AAA 級品ですが、稀少性からしますと標準品価格の 10 倍しましても何ら不思議ではなく、この 10 倍を目指して価格上昇を続けるのだと言えます。」

⁷³ 資料 4 の 77 頁参照。

⁷⁴ 資料 4 の 133 頁参照。

2011年11月23日⁷⁵

「また、【稀少金貨】の価格は今上昇が止まっており、この点からも「買い」となりますが、どのような【稀少金貨】でも売り物がなく、このため、今、アメリカの業者と組んで新しいシステムを作ることに動きだしています。今、稀少金貨の価格は、【B級品（標準品）】を基準に動いており、これが仮に下がりますと、一般に完璧な美しさを持ちます<AAA級品>の価格も下がっているように見えることとなります。実際には、上記のように標準品価格の3倍を出しても買えないAAA級品市場は見えない状態になります。このような事態を解消するために、来年1月にアメリカの大手専門家と共同で、新しい市場を作ることに動きだすことにしており、今後鑑定会社を入れて協議に入ることにしております。具体的には、当社の鑑定基準であります<AAA級品>を標準にした稀少金貨ネットワークを作ることになり、これが広まれば今、アメリカ市場で取引がされています<標準品：B級品>はランク外になります。」

コイン解説でのAAA級品定義

また、和田氏はコイン解説でも以下のように異なるAAA級品の価格解説を行っている。

「上記の『オリジナル品（B級品）』価格は、汚れが付着したり指紋が付いていたりするものの価格であり、今回のような完璧な美しさを持ちます<AAA級品>はこのオリジナル品価格の5倍から10倍以上の価格が払われて取引されていますが、それでも売り物は殆どありません。なぜなら、本当の稀少性からしますとこれら<AAA級品>は『オリジナル品価格』に関係なく、将来100万ドル以上の評価を受けましても何ら不思議ではなく、本当の資産家はその価値を知っているために余程のことがない限り売ってこないからなのです。」⁷⁶

⁷⁵ 資料4の150頁参照。

⁷⁶ http://www.rarecoin-gallery.jp/SHOP/coin1897PF65_2_5_NGC_120726-R7Y9.html

PCGS 価格とは

当該事業者は AAA 級品のコインが PCGS 社鑑定コインである B 級コインの PCGS 価格と比して 2 倍から 3 倍（時には 5 倍から 10 倍と解説）であるという解説をしている。

以下、PCGS 社が定義する PCGS 価格の原文と日本語訳を紹介する。

The prices listed in the PCGS Price Guide are average dealer asking prices for PCGS-graded coins. The prices are compiled from various sources including dealer ads in trade papers, dealer fixed price lists and website offerings, significant auctions, and activity at major coin shows.⁷⁷

「PCGS 価格ガイドに掲載されている価格は PCGS 鑑定コインに対するディーラーの言い値（提示価格）平均値である。これらの価格はディーラー広告、取引情報誌上の価格、ディーラー価格リスト、ウェブサイト上の売り情報、主要オークション結果、主要コインショーでの動向を含む情報から収集されたものである。」

本レポートの 32 頁で述べたように、PCGS 価格も NGC 価格も、それぞれの鑑定コインに対するディーラーの言値（提示価格）平均値であるため、結果、（恐らく様々な主観的思惑も相まって）両社の標準価格は微妙に異なり、一般的にはオークション実勢価格より概ね高めになっている理由がここにある。実勢価格がマージンを加えたディーラー価格になり、それが鑑定会社価格に反映されるまでの時間差もある。ディーラーのコイン買取価格は、当然ながら、オークション実勢価格より低めに設定されることが多い。

PCGS 価格は、和田氏が言うような B 級コインの価格ではない。

⁷⁷ <http://www.pcgs.com/prices/>

14. ダイヤモンド

買取拒否

当該事業者は米国コインだけではなく、多くの高額ダイヤモンドを長年に渡り販売しており、こちらも買取拒否が発生している。本レポート筆者が把握しているだけでも当該事業者のダイヤモンド販売価格は市場価格の**3倍以上**となっており、多くの当該事業者売却済ダイヤモンドは単価が**1千万円以上**であるため、投資家達は購入した瞬間に莫大な評価損を抱えている。

市場価格とのかい離

本レポート 60 頁に掲載した 16 個のダイヤモンドを実例にとると、一般市場価格と当該事業者の販売価格のかい離は少なくとも **3.65 倍**である。60 頁の表の見方は、購入時ラパポート価格の数字にカラット数を掛け合わせてそのダイヤモンドの価格を導き、その数字と購入金額ドル換算の数字を比べて欲しい。16 個のダイヤモンド平均は **3.65 倍**になる。

現在の価値

実証として、今年に入り当該事業者に買取拒否を受けたダイヤモンド或いは購入価格をはるかに下回る買取提案を受けたダイヤモンド **16 個**を世界上位のオークション会社、そしてニューヨーク・香港のダイヤモンド専門ディーラー計 **4 社**に見積を出させたところ、彼らの見積額は当該事業者の販売価格の半分から **3分の1**であった。保有期間（平均 **6 年**前後）におけるラパポート価格はすべてのグレードでかなりの上昇を見せているにも関わらず、である。これらダイヤモンドは購入価格が市場価格の平均 **3 倍以上**であるので、市場価格が上昇しようとも、（当該事業者が販売価格で買戻しない限り）欠損額は尋常ではない。

価格の不当表示

ダイヤモンドにおいてもコイン同様、当該事業者の不適切な動機づけや影響力の行使によって、購入者の意思形成が正確になされないまま、もしくは誤認状態のまま売却が完了している。

当該事業者によるダイヤモンド売却時の日本語説明文を読むと、ほぼ全ての説明書にラパポート社の出す価格リストを「基準価格」と称して売却勧誘をしている。しかし、ラパポート社の価格リストは「基準価格」ではない。ラパポート価格は、ラパポート社が把握しているダイヤモンド卸取引の売手側の最高提示額（Highest asking price）である。

大手オークション会社の説明では、ラパポート価格は業者売主が求めている提示（言値）価格の最高価格を記したもので、実際のダイヤモンド卸取引はダイヤモンド市場と業者間の力関係でラパポート価格から大きく下回るとのこと。

問題は、当該事業者がそのラパポート価格を「基準価格」と表現し、ほぼ全てのダイヤモンドに対して「世界最高」「これ以上ない」という解説を添えながら市場相場の数倍の価格で売却している事実である。米国コインの販売と同じように「当社のダイヤモンドは、AAA 級鑑定ダイヤモンド」という表現も使って販売を行っている。⁷⁸ なお、ダイヤモンドの AAA 級定義は和田氏により開示されていないため不明である。

上で触れたラパポート社価格とは、世界におけるダイヤモンドの業者取引価格をグレード毎に毎週金曜日に会員に公表し、ダイヤモンド取引価格の一つの指標となっているものである。ラパポート社発行のダイヤモンド価格表の一例は添付資料 8 を参照願いたい。

この価格表の左下に小さな字で以下の記載がある。

‘Prices in this report reflect our opinion of HIGH CASH ASKING PRICES. These prices are often discounted and may be substantially higher than actual transaction prices.’

つまり、事業者がコピーをして日本語解説文に貼って「基準価格」と説明している価格リストの正しい定義は、ラパポート社がつかんでいるその時点でのダイヤモンド取引における売手の Highest asking price（最高言値額）であり、この金額は substantially higher than actual transaction prices（実際に取引決済されている価格より実質上かなり高く）ディスカウントされる、と明確な英文注釈が添えられている。

⁷⁸ 資料 4 の 50 頁と 111 頁を参照。

当該事業者はその注釈部分を日本の消費者には開示せず「基準価格」として偽装説明、更にはその数倍の価格で販売し、購入者は錯誤のままダイヤモンド購入に至り、購入した瞬間に大きな評価損を抱えた投資になっている。

ダイヤモンド大手オークション会社の説明では、業者売主側は最初にかなり高めの提示額を出し、そこから売主と買主の間で交渉が行われ価格が下がっていき、交渉の力関係次第でディーラーの買い取り価格がラパポート価格の 50% 近くに下がることも多々あるとのことである。

日本の一般の消費者はラパポート社発行の価格リストを入手して細かく読むことは不可能であり、ラパポート価格の定義を知る由もない。

結果、売主側の言値最高提示価格を和田氏が言うように「基準価格」と信じこみ、そこからさらに相場の 2 倍から 3 倍以上の価格で当該事業者から購入するに至っている。米国コイン同様、当該事業者の虚偽説明を信じた投資家（消費者）が市場価格を逸脱する価格でダイヤモンドを購入しており、こちらも消費者の自己責任で片付けられる問題と規模ではない。コイン同様、和田氏・当該事業者が市場価格からかい離れた高値で消費者から自ら買い戻しをしない限り、投資欠損はかなりの確率で購入時に確定している。

次のページは和田氏・当該事業者から買取拒否を受けたダイヤモンドの実例である。

最後に、本レポート作成のための情報開示に協力をして戴いた投資家達の、勇気と正義追及の意志に感謝したい。

2014 年 6 月 金城

実証：買取拒否を受けたダイヤモンド例

購入日 PURCHASE DATE	カラット CARAT	グレード COLOR CLARITY CUT	GIA 番号	購入価格 PURCHASE PRICE IN JPY	購入日 ドル・円為替 USD/JPY EX. RATE ON PURCHASE	購入金額 ドル換算 PURCHASE PRICE IN USD	購入時の ラパポート カラット価格 RAPAPORT PRICE ON PURCHASE	2014年5月時点 ラパポート価格 RAPAPORT MAY 2014	ラパポート 価格の何倍で 売ったのか
2008/2/26	3.01	D/IF/EXCELLENT	16748845	¥35,000,000	107.748518	\$324,830	\$68,000	\$102,500	3.17 倍
2008/2/26	3.01	D/IF/EXCELLENT	15808173	¥37,000,000	107.748518	\$343,392	\$68,000	\$102,500	3.35 倍
2008/3/21	2.63	D/F/EXCELLENT	16419372	¥25,000,000	99.420812	\$251,456	\$36,300	\$50,900	4.94 倍
2008/3/21	1.7	D/IF/EXCELLENT	16439440	¥8,400,000	99.420812	\$84,489	\$24,800	\$33,600	2.51 倍
2008/3/21	1.54	D/IF/EXCELLENT	16833215	¥7,500,000	99.420812	\$75,437	\$22,600	\$33,600	2.25 倍
2008/3/21	1.16	D/IF/EXCELLENT	16379950	¥4,650,000	99.420812	\$46,771	\$19,200	\$27,500	1.70 倍
2008/9/29	3.42	D/IF/EXCELLENT	16874719	¥55,000,000	105.110100	\$523,261	\$73,400	\$102,500	5.10 倍
2008/10/1	1.53	D/IF/EXCELLENT	16333180	¥7,500,000	106.052533	\$70,720	\$24,700	\$33,600	2.10 倍
2008/10/1	1.53	D/IF/EXCELLENT	16333128	¥7,500,000	106.052533	\$70,720	\$24,700	\$33,600	2.10 倍
2008/10/12	4.07	D/IF/EXCELLENT	15785097	¥68,000,000	100.670000	\$675,474	\$104,000	\$112,000	6.03 倍
2008/10/24	2.2	D/IF/EXCELLENT	16912715	¥16,300,000	94.103518	\$173,214	\$42,000	\$50,900	3.40 倍
2008/11/11	3.01	D/IF/EXCELLENT	16927771	¥38,000,000	97.740321	\$388,785	\$73,400	\$102,500	3.79 倍
2009/1/5	2.11	D/IF/EXCELLENT	2105285338	¥11,700,000	93.20775	\$125,526	\$40,000	\$50,900	2.47 倍
2009/1/5	3.41	D/IF/EXCELLENT	2106194810	¥27,000,000	93.20775	\$289,675	\$63,800	\$102,500	2.83 倍
2009/1/5	4.49	D/IF/EXCELLENT	2105486449	¥40,500,000	93.20775	\$434,513	\$89,000	\$112,000	3.88 倍
2011/8/25	1.16	D/IF/EXCELLENT	2126075960	¥4,550,000	77.389607	\$58,793	\$19,200	\$27,500	2.14 倍
	AVE 2.56	16 個合計平均	TOTAL/AVE	¥393,600,000	98.74513413	\$3,937,058	TTL \$793,100	TTL \$1,078,600	3.65 倍

資料 1

外交官財テク事件 外務委員会記録

資料 2

和田氏関連 新聞報道記事

資料 3

和田氏関連 米国法人リスト

資料 4

2008 年以降のネバダブログ

コイン・ダイヤモンド販促記事

資料 5

2014年 ボルチモア オークションレポート

資料 6

2012 年 8 月以降の当該事業者売却済

100 万円超コイン リスト

資料 7

2012 年 8 月以降当該事業者売却済

500 万円超コイン リスト

資料 8

ラパポート社ダイヤモンド価格表